京城日報

六月十四日夕刊（朝刊併せて八頁）

定價本紙 壹部金參錢 壹箇月金七十五錢▲前金參箇月金貳圓貳拾五錢▲六箇月金四圓五拾錢▲壹箇年金八圓六拾錢▲郵券代用二割增
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢同六號十七字詰一圓五
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用六六九番 營業用六九番 守衞用三九番 振替京城三八〇番

◇七月以前不調印
四國會議條約討議に同意

對獨條約は七月以前には調印されざるべしと信ぜらる蓋し四國會議は對獨逸條約に就き討議を爲すに同意せんとする機運著しく熟し居ればなり 尙ほ墺國も條件緩和の爲め之が條件を提出せんとしつゝあり(桑港電報)

◇對獨回答と削減

對獨聯合國の回答は敵地占兵數及び其費用並に領占領期間に關し更に削減せり(巴里電報)

◇和、白國境問題
和蘭領土的讓與を拒絕す

(巴里特約員發電)五國會議は和蘭白耳義の國境問題に關する審議を了したりされど何等の結果を見ざるが之れ和蘭が白耳義に對する總ての領土的讓與を拒絕したるに依るされば五國及び和蘭白耳義の代表を含む新委員會組織され白耳義の將來に於ける政治上の地位を決定する筈なりと

◇兩軍中立地帶に撤退

匈牙利軍チエック軍は休戰條約の下に戰爭を中止し兩軍共聯合國の決定したる中立地帶に撤退しつゝあり(倫敦電報)

◇波蘭軍隊組織さる

波蘭と獨逸とは結局交戰避け難く波蘭軍隊は完全に組織されたりと(桑港電報)

◇過激軍討伐情報
我軍並に米軍の活動

陸軍省發表＝烏蘇里鐵道に對する過激派の來襲は尙繼續されつゝあり十日夜ローゼンカルトフカ驛に武裝せる八名の過激派軍現はれ電報を差止め十一日夜に至り逃走せり又十一日正午ベイツハ驛(ビギン北方)は武裝せる五名の過激派の爲め占領せられ十一日夜七時ドロツドフ(スパスカヤ北方)驛は四十名の過激派に依り占領せられたるを以てスパスカヤ守備米軍は直に八十名の米兵を派遣したるが兩者の間には戰鬪起りたるもの如し十四日午後五時頃スパスカヤ南方クリング驛は過激派軍の占領する所となり日本軍スパスカヤ守備隊長は將校以下三十名を同驛に急派せり又スウイヤギナドロツトフ兩驛間の線路は過激派の爲め破壞せられ列車顚覆したるが搭乘し居たる我がシヤコフカよりの歸還兵一箇小隊は直に同方面の過激派軍を擊破し露停一名を獲たりスパスカヤ附近クリング驛を占領したる過激派軍三十名は十一日同地に到着後郵便列車に搭乘せる三十名の露兵及び我が三十名の步兵の爲め擊退せられたるが露兵一名戰死し我軍には損失なし(東京特電)

◇排日暴動漸次緩和
＝陸軍省發表＝

陸軍省發表＝上海は其後變化無く唯苦力の罷業は荷揚の故障を惹起し漢口との聯絡絕え支障を來し居れり 漢口も亦變化無きも在留日本小學生は暴動の爲め授業を受くる能はざる狀態にあり濟南は相變らず警戒中にて日本人には危害を及ぼさゞる模樣なり滿洲は東三省巡閱使張作霖氏の嚴重なる取締の下に無事なり要するに排日傾向は上海より漸次北方に向ひ緩和されつゝあり(東京特電＝延著)

◇軍艦驅逐艇發航

海軍省發表＝遣支艦隊に編入せられたる第二十驅逐隊は十二日午後二時佐世保發上海に向へり 尙軍艦千歲は十三日上海に著し淀は十四日吳發上海に向へり(東京特電)

◇鮮臺米移出交涉
鮮米廿八萬石不日輸送開始

新領土に於る米の移出に關し古賀拓殖局長官より長谷川朝鮮明石臺灣兩總督に交涉の結果臺灣總督府にては去一日廿萬石の移出を許可し更に十五日三十萬石の移出を許可すべし尙其他にも移出し得べき見込ありとの電報來れり而して同總督府に於ては該移出米を直ちに商人の手に賣渡す時は貯藏又は賣惜みをなす虞あるを以て成るべく政府に於て管理せん事を希望し居れるも這は困難なる事なれば政府に於ては先づ調節の効果を擧ぐる他の方法を講ずべき方針なり又朝鮮各港に出廻り居れる鮮米は釜山十萬石、仁川八萬石、元山六萬石、鎭南浦四萬石、總計二十八萬石にして其中の幾何を積み出し得るや問合中なるが回答あり次第輸送を開始すべく此外東洋拓殖會社所有の朝鮮米二萬石も本月中に大阪に移送せらるべしと(東京特電)

◇地方長官更迭か

井上東京府知事逝去の結果近く地方長官の小更迭ある可く井上知事の後任には兵庫縣知事有吉忠一氏有力なる候補者として傳へらるゝも或は本省內より後任者出づるやも知れずと噂さる尙埼玉縣知事岡田忠彥氏は近く外遊の途に就くべしと(東京特電)

◇井上知事敍位

十二日附を以て左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり(東京特電＝延著)

東京府知事正四位勳二等法學博士 井上友一
敍從三位(以特旨進位)

◇小野田元熈氏

過般群馬縣館林町にて腦溢血に罹り同地別邸に靜養中なりし錦鷄間祗候、貴族院議員小野田元熈氏は十二日午前十時五十分薨去せり享年七十有二、之れより先き病革まるや左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり

正三位勳一等錦鷄間祗候貴族院議員 小野田元熈
叙從二位(以特旨位一級被進)

尙遺骸は十三日上野驛着牛込の同邸に入れり(東京特電)

◎樂觀不可
我國民の對支策
某將軍談

安東縣通過南下の某將軍を車中に訪ふ曰く支那各地の排日的暴動は一時鎭靜の模樣なりしが其後再び勃發し益々蔓延しつゝあるもの如し右に對し我實業家は勿論政府に於ても之等の暴動は到底永續す可きものに非ずと做し極めて

▲樂觀の態度 を執りつゝある模樣なるが這は將來極めて

狀態にあり全く平和克復せるに非ず尙戰線には多數軍隊駐屯しイザと言はゞ直に砲火相見るの準備を未だ怠らず故に世界の生產界は今尙交戰狀態にあると見るを至當とす此際物資供給國たる日本に對し排貨を叫ぶは其根柢極めて淺薄なるものありされば當局者は勿論一般國民は擧つて對應策を講ぜざる可らず之が爲には日支親善に關し

▲双方の諒解 を得自然的に誘導啓發するを要す我國民は總て事功を急ぐの結果眼前の成功に悅こぶの情あり之を米國等が世界經濟の大勢を達觀し支那に於ける無限の資庫の鍵鑰を握る爲め敎育に宗敎に其他平和的美名の下に最後の目的を遂行すべく孜々確乎として計畫を進めつゝあるに比し遜色此上無き事といふべし、宜しく平和克復せんか米英其他の諸國は

▲支那の寶庫 を開く可く其無限の金力を以て來り臨むは火を睹るよりも明かなり夫につけても最も支那と關係深き我國が戰爭の好影響に依りて得たる小なる成功を以て滿足し現下の支那の騷擾に對し極めて樂觀的なるは不心得も甚だしと言はざる可らず云々(安東縣)

◎各銀行上半業績
未曾有の好調狀態を呈す

六月に入り中旬に入り銀行上半期決算締切を眼前に控ふる事となりしが本期業績の如何を見るに各銀行共

▲未曾有の好況 を呈し居るに似たり乃ち(一)昨秋惡性感冒全鮮に猖獗を極めし結果米豆の出廻りは例年より約一箇月餘も遲れ十一月末以降に之を見る事となりしため各銀行の米豆貸出資金の激增は十二月に入つて著しく現はれしも貸出增加に基づく利息收入の多くは前期の決算に繰入されず自然當期に繰越したるもの少なからざる狀態にあり(二)米豆其他の鮮內生產品並に綿絲布砂糖其他の輸入品は何れも大體に於て相場漸騰せしため貸出しは稀有の膨脹を持續しつゝあり(三)生產品の昂騰による地方財界の好調は購買力の增進となり資金の移動を繁忙ならしめ銀行の各種取立等は稀有の順調を現し居れり尤も三月の

▲米價暴落 は基礎鞏固ならざる米商並に關係者に大打擊を與へし觀あり多少の破產者も中央並に地方に出しが然も間もなく米價硬調を呈し初めしこ財界の膨脹力等常ならざるため直ちに之れを消化し殆ど銀行の營業には惡果を及ぼし居らざるやに見ゆ之れ各銀行の營業好調を唱ふる所以なり尙ほ鮮銀の如き銀行券の發行は物價の騰騰之れに伴なふ資金需要繁忙のため殆ど九千萬圓を割らざる勢ひを持續し各種貸出亦振ひ

▲外國爲替賣買 も之れを前期並びに前々期に比し良好なる如し唯露貨の暴落は北滿の財界に惡影響を及ぼせしも銀行こしては必ずしも痛手を負はず結局前期以上の純益を擧げしならん又殖產銀行は本期に入つて預金貸出し共膨脹著しく地方資金の撤布增大こともに收益激增せし模樣なり唯講和會議の前途並にその進捗狀態の如何に基く世界的影響により財界はいつ大反動期に入るや計り難くこれ

▲各銀行の警戒 を怠るべからざる點ならん若し現狀を以て下半に入り大波瀾なく經過せば下半の銀行業績は更に擧がるべきかと

◎撫順炭京仁不給
十五萬噸の配給方法＝主として西北鮮に＝京電給炭停止
滿鐵鑛業課出張所主任談

本年滿鐵の朝鮮に供給すべき撫順炭十五萬噸は主に西北鮮地方に振向くる豫定にて京仁を含める以南は內地炭又は

▲開平炭を供給 する事となり其數量は十二萬噸乃至十五萬噸となるべく內地炭は田川炭又は大辻炭にて價格は目下引合中なる故遠からず發表せらるべし而して撫順炭十五萬噸の配給方法は各地に相當量を供給するは當然の事なれども平壤鎭南浦等の大市場に於ては供給量も多く其他の地方に供給量少きは自然の勢たり目下大體の配給方針は新義州平壤間(但平壤を含まず)は約三萬四千噸平壤鎭南浦附近は約六萬噸京城以北(京城を含まず)は武萬一千噸元山地方約五千噸の

▲合計十二萬噸 にして大正八年度の撫順炭供給量十五萬噸は三萬噸の不足あるは總督府この間に內地炭買付交涉の遲延の爲四、五、六の三箇月間に於て京仁以南に既に供給し又現に供給しつゝあるが爲なり撫順炭の供給量增加に就ては予も及ばずながら種々盡力したるも滿鐵としては絕對に撫順炭十五萬噸以上の供給餘力なく京城電氣會社に同炭を供給せざる理由も全く右の爲にして哈爾賓長春方面の昨冬の供給炭不足の慘狀は目も當てられぬ有樣なりき且又貨車配給難もあり事實に於て朝鮮迄手を延ばす餘力なきなり

◎總督邸晚餐會

長谷川總督は豫記の如く十四日午後七時官邸に於て來城中なる井口軍事參議官を招待し晚餐會を催したるが恰も目下柳澤保惠伯も入城中なるを以て同伯をも招待し同時に左の諸氏陪席として參席したり
山縣政務總監、宇都宮軍司令官、李完用伯、朴泳孝侯、尹澤榮侯、閔丙奭、趙民熙、李夏榮各子爵、李允用、李根澔、李根澤、金春熙、李根湘、閔商鎬各男爵、鈴木長官、兒島警務總長、關屋荻田兩局長、國分次官、芳賀院長、松永道長官、藤木古城吉澤各副官等
因に宇佐美小原持地各長官淨法寺師團長李載完侯韓昌洙男の諸氏は事故の爲め辭退せる由

◎總監三氏招待

山縣政務總監は十五日午後零時半朝鮮ホテルに於て午餐會を開催し十四日夜入城すべき原田十衛、山口恒太郎、小泉策太郎の三代議士を招待すべしと

◎手當增給發表期

總督府高等官以下屬員に對する臨時手當增給の件は十六日附官報を以て發表さるべし

◎辭令

十二日附左の辭令あり

成興地方法院判事 奧田勝太郎
補公州地方法院忠州支廳判事
公州地方法院忠州支廳判事 湊信三
補成興地方法院會寧支廳判事

◎龍山に蠶繭市場設置

朝鮮蠶業の發達に伴れ全鮮第一の蠶繭集散地たる京龍には繭取引業者簇出し每年取引せらるゝ價格二百萬圓以上に上りつゝあり殊に本年は產額の增加と繭價の昂騰に依り大約四百萬圓にも達すべき情勢にあるが本來京龍は全鮮に於ける蠶繭賣買の中心地として一般に認識せらるゝ程度の聚散を見つゝあるにも拘らず從來の商取引方法は區々にして未だ以て一般の信任を受くるに至らざりしが今回京龍に於ける蠶業者中の主なる者發起となり龍山に一の蠶繭市場を設置し公正にして權威ある取引を行ひ以て全鮮に範を示すと同時に一面總督府の蠶業獎勵の趣旨に副はしむべく過般來數回會合協議を遂げ目下委員間に於て實行方法に付研究中なれば近く實現を見るに至るべきが之が實行の曉は全鮮に於ける繭取引上に及ぼすべき便宜頗る大なるものありと爲し一般の期待を受けつゝあり

◎染料界不振

歐洲戰亂は既に終熄を告げたるも講和會議進捗せざる爲め染料界は依然影響を受け且冬物の準備中とて昨今內地は約三割方の昂騰を見たるも朝鮮向染料は目下地方農繁期の爲め鮮人の出城するもの少く商品の動き少き爲め目下市況振はず中には賣込を急ぐ結果粗惡品の如きは捨賣を爲すもの勘からずと

◎奉天學生模範
褒賞を電請

支那各地の學生等一齊に起ちて排日に熱中しつゝあるの時單り奉天省の學生等は其の不可なる所以を諒解して附和雷同せず熱心學業に勉勵しつゝあるは眞に靑年學生の模範とするに足るものあり依つて中央當局は宜しく奉天學生に對し賞讃の辭を惜むなきは勿論相當の褒賞を與へられたき旨張督軍より此程中央政府に對し電請する處ありたりと(奉天)

◎南京上海間開通

滬寧線從事員の一部同盟罷業の爲め運轉中止中なりし南京上海間の鐵道は其の後復舊し平常の如く運轉を開始したりと

◎電信復舊期
十六日頃か

佐世保大連間海底電信線の障碍地點は巨文島邊の南北二箇所に在るの如く十四日朝其附近にて修理作業中の修理船小笠原丸より大連への通信によれば大連方面の障碍は既に除却したるも佐世保方面に殘り居る障碍の地點は濃霧の爲に進航し難く從つて全線復舊の期は天候次第なるも十六日頃には復舊すべしと

◎上旬鮮鐵成績

六月上旬に於ける鐵道運輸成績を聞くに乘車人員は二十九萬餘名貨物噸數は九萬五千噸客車收入二十二萬二千餘圓貨車收入二十五萬圓にして是を前年同期に比し人員に三割五分噸數に於て二割六分客貨車收入

◎新郵便局

咸鏡南道三水郡江鎭面新乫坡里の新乫坡郵便所は六月十五日より新乫坡鎭郵便局に昇格したり

◎實業會社申請

石鎭衡、白鎭洙、金貞植、閔衡基、韓相龍、吳尙默、南廷圭氏等の發起に係る南滿洲實業株式會社は五月二日附設立許可の申請を爲したるが同社は資本三十萬圓にして京城に本店を、奉天に支店を置き土地の開墾並に一般朝鮮及滿洲物產の貿易並に貸金を營むを以て目的とすと

◎蠶繭共同販賣

京畿道にては左記の日割により蠶繭共同販賣を行ふべく開札は特別の事情なき限り午後一時に執行すべしと

郡名	入札月日	場所	石數(石)
京城	二十五日	公會堂	一一四
富川	二十八日	素砂金融組合	一〇〇
楊平	二十九日	郡廳	四〇〇
金浦	三十日	同	五〇
龍仁	同	同	三〇〇
驪州	七月一日	同	一三〇
利川	二日	同	一〇〇
開城	三日	同	一〇〇
廣州	同	同	一五〇
江華	五日	同	五〇
楊州	同	同	五〇
坡州	六日	汶山普通學校	一〇〇
長湍	八日	郡廳	四〇〇
抱川	九日	同	七〇〇
水原	十日	同	二〇〇
加平	同	同	五五〇
振威	十一日	同	四〇
漣川	十三日	同	七〇〇

◎郡參事更迭

全南海南郡參事閔丙昇氏依願解任に付安基鏞氏任命され又慶南梁山郡參事金錫淳金敎鵬の兩氏辭任に付裴永復、崔高翕氏任命され、慶南釜山府參事李慶南氏辭任せり

◎井口大將訪府

入城中の軍事參議官井口大將は十四日午前九時總督府に長谷川總督並に山縣政務總監を訪問せり

◎垂井司令官動靜

軍司令部事務打合會議に出席の爲め出城中の鎭海灣要塞司令官垂井少將は目下愛婿後藤參謀官舍に滯在中なるが十四日長谷川總督其他を歷訪したるが歸任は十六日頃の豫定なりと

◎柳澤伯訪府

十三日夜入城したる伯爵柳澤保惠氏は十四日午前十時總督府に長谷川總督並に山縣政務總監を訪問したり

◎三代議士入城

政友會所屬代議士原田十衛小泉策太郎山口恒太郎三氏は十四日夜特急列車にて入城すべし

◎大阪敎育視察團

大阪敎育視察團一行八名は十四日夜滿洲方面より入城山本旅館に投宿すべく一行は三日間滯在視察の上歸途に就くべしと

◎藤村本社支配人

藤村本社支配人は下關支局開設の要件を帶び十四日朝出發同地へ出張十七日歸城すべし

◎訂正 前號松平理事談『浦鹽靑島支店』は『ハルピン靑島支店』の誤りに付訂正す

人事消息

▲田中三雄氏(總督府事務官) 東京出張中のところ十三日朝歸任
▲陶山武二郎氏(總督府通譯官) 嚴父危篤の急報に接し十二日神戶に向け出發
▲赤井直吉氏 今回滿鐵京城鐵道學校學監兼敎諭を命ぜらる
▲久保要藏氏(滿鐵京城管理局長) 十四日朝釜山より歸任
▲相羽砲兵中佐(鎭海灣重砲兵隊長) 入城中の處十四日夜歸任
▲丸山佐四郎氏(營林廠技師) 十四日朝入城浦尾へ
▲富田儀作氏(鎭南浦實業家) 同上
▲奧村竹三郎氏(全北阿部農場主任) 同
▲山本唯三郎氏(松昌洋行社長) 十四日朝退城
▲小野陳氏(辯護士)▲星野新作氏(辯護士) 十四日朝退城
▲本田常吉氏(新任釜山府尹) 曩て入城中の處十五日午前十時發赴任の由

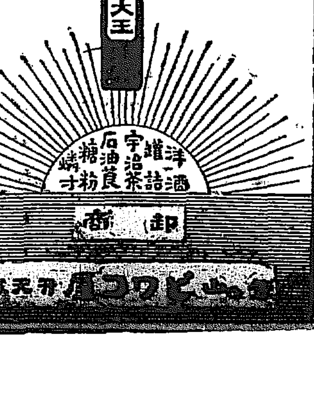
八面鋒

◆上海の排日暴動が、漸次排外化となり、過激思想を交へて、事態重大となり、遂に錢內閣を瓦解し、徐大總統迄が責を負うて職を辭せんとする程事は重大となれり。事局重大と云ふよりは、寧ろ支那をして危殆に瀕せしめんとす、由來支那政界には策士多し、孫洪伊、戰犬仇等が、過激派と相連繫すと傳へらるゝも、畢竟するに過激化と云はんよりも、利己的野心に立脚したる術策に他ならざるべく、目的の爲に手段を選ばざるは支那政治家の通例也、彼等の或者が某々外人の野心の爲めに其の手先となる、もとより利己的ならざるなきは無論也、斯くて支那は、支那人の爲に亂れん、若し夫れ尙一に瓦解に決著する時あるも、誰を怨まう樣なかるべし。

◆支那の排日は、之を煽動せる者等の日より見れば、少々藥が利き過ぎたるの觀あるべく、廟を燒き拂はんと欲して母屋に火の移れるには、彼等も喫驚して遽に消防に努力せんとす、消防は煽動者自らの責任也、燒き拂はれたる者は斷乎として其の損害の賠償を强要すべし、燒きたる者も之が煽動者も同罪ならざるべからず、之をしも爲さずして見脫す事を得んや、被害者は之が要求と同時に、將來の確保を得べき權利あり、何ぞ速かに之が請求を主張せざるや。

◆將來の確保とは何ぞや、火を出したる者は責任上其の町內を立ち去らざるべからず、若し立ち去る能はずんば、町內の各戶に火災保險を附すべきの責任あり、尙ほ然らずんば火氣一切を取扱はざる保證をなさゞるべからず、日本品を燒きたる支那は、將來日本品、被害なしと云ふ保證を附せざるべからず、而して又煽動者は將來斯る事は一切致さず、不申と恐入證の一枚も差し出さゞるべからず、然らずんば町內より遠慮なく立ち退きを命ずべき也、被害者果して此の勇氣あるや否。

値上げ廣告
從來賃金貳圓七拾錢の處來る七月一日より
左官一人一日賃金參圓也
右組合の決議に依り改正實施致候也
京龍左官業組合
組合長 林喜太郎

旗印參精葡萄酒


◎鶉卵高價買入

照會ハ三錢要
家禽類種禽 白色レグホン
孵卵器 養鶉用品 鶉孵卵器
鶉卵卸小賣 養鶉飼料
鶉卵進物用飾箱
京城水標橋北詰東入(大和印刷所東)
鶉生園
振替京城六四九〇番

模造品續出す御注意
本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱道に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用に依る治療器にして使用後直に脈搏の整調强壯の源を感じ疾病の根元を絕滅せしむるに有效すべき偉力を嘆す實に物理治療法の中の權威たり特に多年の藥用効なき難治の病者に適む
オキシパサー
器械を掛くる時は直に空氣中の酸素を全身の氣孔より誘導吸收する作用を有し使用簡單にして危險なく毫も用を要せず効力は永久なり、內科諸病を初め外科手術後の治療期急劇なる熱性病其他慢性病に用ひて可驚偉効あり說明書使用書無料進呈 實驗治療諸病概例無代進呈
定價金參拾九圓
東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會
特約店 京城府 龍山驛前 酒本高明商店

小兒科諸大家實驗推薦
母乳代用 完全哺育

說明書進呈
各藥店食料品店販賣
牛乳煉乳に比し 成分完全 消化良好 發育佳良 取扱簡便

軍隊鐵道拂下品 其他諸官衙拂下品一式
新古夏服 事務服 工場服 其他
和服夏物 品種々
右多少に不拘御用命被下度候
洋服和服 商 金子奧市商店
京城府龍山元町三丁目
電話龍山長一〇五番 振替口座三八一三番

（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

◇夏の山　夏山や石を祭りて僧の住む（南山公園）

民草の上に御心を注がせ給へる皇后宮
新聞雜誌は悉く御通讀　物價の高低にも御注意

目下の時局に際し畏くも日夕民草の上に御心を注がせ給へる皇后陛下最近の御日常に就て大森皇后宮大夫は謹んで語る『御女性の事であるから政治問題又は思潮の變化等に就て表向き御研究はないけれども然し

百般の事 に注意を拂はせられ又機微に亘つて御通曉になつて居る事は誠に恐れ入つたものだ何分新聞は總てに御目を通されるし新刊の書籍は獻上にならぬものでも新聞廣告に注意せられてごしく御買上になる自分等が迂つかりして居るこ『今度斯様な書物が出版になつた』こいふ様な

御言葉が あつて却つて私共が知らないで居るこいふ有様だ夫を一々御閲讀あらせられるのだから御智識の該博で在らせらるゝ事は想像に餘りあるこ拜察してゐる、又諸物價の一高一低も陛下の深く御心に掛けさせられる處である『今日は **物價騰貴** の問題に就て新聞に斯ういふ事が載て居た』こいふ様な御言葉があつて私共の方から却つて伺はねばならぬ様な事さへある

◎窓を開けて寢よ
斷じて呼吸器病に罹らぬ　五分間毎に一人死ぬ肺結核

滯城中の井口大將は語りて曰く日本では呼吸器病を除く他の病氣は年々減つて行くが夫れに反して **呼吸器病** ばかりは年々律を增して行く寒心の至りに堪へぬ呼吸器は實に國家を亡ぼすの病魔である幾萬の鮮血に依つて滿洲の雪を彩つた彼の三十七八年戰役に於て我が失つた忠勇義烈の日本男兒の數は實に四萬六千四百に上つたが明治三十八年に於て肺結核で死亡した數は實に九萬六千を算し猶明治四十二年に於ては其數十一萬三千に達してゐる恰度我國では五分間毎に結核菌の爲めに **一人宛殺** されて行く勘定だ日露戰役には擧國一致の美風を遺憾なく發揮したが猶此の美風を數倍にして結核軍こ戰ふの決心を全國民に要求仕度い夫れに就いては各人各個が衞生に注意し常に戰線に立つて戰ふの勇氣を以て結核菌の襲擊を防ぎ猶進んでは攻擊前進是が擊滅に努力仕なければならぬのであるが兎角日本人は **口に衞生** を絶叫しながら求めて呼吸器病になりたがつて居る今回の旅行で哈爾賓鐵嶺奉天等の各病院をも觀察する事が出來たがごうも呼吸器病患者が多い哈爾賓には廿名鐵嶺には四十名もゐた呼吸器病に罹らぬやうにするには平常からの覺悟が大切である夫れには窓を開けた儘寢るが最も良い自分は昔から是を實行してゐるが風邪一つ引かない人は流行性感冒が猖獗を極めた時何れも **戰々兢々** たる風があつたが自分は平氣であつた而も寢る時には窓を開けて寢てゐた朝鮮の家屋には日本式の雨戸が多いが滿洲に行くこ西洋式の煉瓦建で雨戸こ云ふ物は無く何れも窓である其の窓を締切つた儘寢るのであるから呼吸器の弱るのは當然である日本こ違つて朝鮮滿洲は空氣が乾燥してゐるから窓を明けて寢る方が遙に良い何も強て閉める必要は無い唯寢冷さへ仕ないやうに腹卷でもして注意するのだ兎角

是を實行 しやうこすると細君が反對を唱へ易いから良く理解するやうに說いて開けつばなし主義を履行するのだ夫れを始めやうこするには此頃から始めるが良い雨の降る時風の吹く時には夫れに準じて窓の開け方を狭め冬季は時々明けては空氣の變換をするやうにして居れば決して呼吸器病には罹らぬ肺結核の撲滅を圖るには先づ

身神を錬 へて呼吸器を丈夫にし次に病人に接觸しないやうにし次に蠅の撲滅を圖る事である蠅は結核患者の喀痰や唾の上に病菌を混じて出すから食物の上にこまらない様に仕なければならぬ夫れを防ぐには即ち殺すに限る

◎騷擾事件公判
無罪放免二名　大部分は控訴す

京城地方法院に於ける保安法違反並に騷擾事件は十四日迄に於て公判濟のもの二百二十一件の人員八百十五人にて未濟のもの十三件の人員八十八人こなり不日一段落を告げる事こなるべく右公判濟のものにて判決に服罪せる者二十八人にて他は悉く覆審法院に控訴せり而して右の内無罪放免せられたる者僅に二名あるのみにて地方法院の漸く閑散に向ひつゝあるに反じて覆審法院は是等控訴事件にて大多忙を極めつゝあり

◎逝去せる井上博士
學界の爲にも惜しい人　自治制の權威

東京府知事井上法學博士逝去の報を簸して同氏の知己なる某氏を訪へば氏は悵然こして語て曰く『同君は何人も知る様に在學中から **優等の成績** で、他の學生から非常に尊敬されてゐた、同君は金澤藩士で第四高等の出身であつたが、當時大學の優等生は殆んご一高出身者のみであつた事こて、君が優秀の成績を以て入學するや大恐慌を來たし、一同君に負けまいこ一生懸命に勉強したものであつた、從つて君もこれに勝たうこして大に努力した

◇**卒業後友人** や教授は同君に大學の教授たらん事を勸めたが君は政治の方が好きだからこて官界に入り、內務省に出仕し、暫く知事にはならなかつたが、地方に行きたくないこて低い官等に甘んじてゐたので、東京府知事になつたのはその地方官に爲つた初めであつた、同君は行政法、殊に自治制に造詣深く

◇**東京府知事** こしての功績については世人の知悉する所で、就中最近社會政策に盡力して著々成功しつゝあつた時に當り君を喪つた事は獨に府の爲めのみか學界の爲めにも痛惜に堪へない

◎彌勒佛の三大字を
金剛山の大石壁に彫刻　三字の長さ六十四尺に達す

金剛山楡岾寺の僧林石頭和尚は十年以前より『彌勒佛』の三大字を刀鑿の石壁に刻せんここを計畫しつゝあるも何しろ七十餘尺の

△**大石壁に刻** り付くべき大字を書くものなく和尚は窃に苦慮しつゝありしが和尚は一日長谷川町書畫研究會の海岡金圭鎭氏を訪ひ其計畫の趣を語りたるに金圭鎭氏は其の計畫に賛成し來熟しながら一筆を揮ひ見んこて彌勒佛の三大文字を書き與へたるが字劃の大なるものは一尺三寸小なるものも一尺に及び『彌』の字こ『勒』の字の長さば各十二尺『佛』の字の長さは四十尺、三字合せて實に六十四尺に達する天下未有の

△**大文字を書** き上げたるが筆力の雄健なる恰も蛟龍の躍るが如き觀ありこ因に石頭和尚は此を携へて去る三十日楡岾寺に歸山し其筋の許可を得て直に彫刻に着手すべしこ更に角稀有の大文字にて之が彫刻成るの日は金剛山の一偉觀たるに至るべし

◎發疹チブス蔓延の兆
既に九十六名を出す　同患者の多くは貧民

鍾路署管內に於ける十四日迄の傳染病患者は腸チブス卅二、赤痢八、猩紅熱二、ヂフテリア三、パラチブス六にて

▼**發疹チブス** は昨年同期の八名に比して本年は既に九十六名を出し益々蔓延の兆あるより同署衞生係は係員總出にて發生家屋に對し大消毒を施行するこ共に交通遮斷をなし病菌の傳播を防ぎつゝある一方谷勞働者集合所並に宿泊所等に對しては係員は絶へず檢視をなし極力豫防方法を講じ居れるが何分發生箇所が

▼**市內に散在** せる鮮人貧民窟殊に水草を逐ふて移り住む乞食輩に多く從つて病毒撒布の憂あり同署にては是等患者發見に努めつゝあり右に就き同署衞生係員は語る『何分患者が貧民に多いので傳染病隔患者百四十七名の內入院費を支辨し得る者が僅に二名しかなく其他は悉く府費でやつて居る始末で患者を發した家では

▼**食ふに困り** 餓死せんこする有様で慘狀言語に絶して居るが中には松峴洞康叔鄉方雇人李性女（五）の如きは同病に犯されたる爲め解雇せられたので行先に困つて死を決し小川の砂を掘つて半身を埋め死ぬる〳〵こ怒鳴つて居た處を警官が發見して本署に連行して見るこ果して發疹チブス患者であつたこ云ふ滑稽じみた

▼**憐れな患者** もあつた同病は傳播が激しいので此際一般市民は充分注意するこ共に病毒媒介を爲す蚤、虱、南京蟲等の驅除に努めて貰ひ度い』こ

▽**本町署管內** 雨期に近づいたのこ一つは數日前からの寒暖不順の爲めか近日滅切り傳染病患者が殖ゑ出た。本町署管內だけでも十一日には七名の腸チブス患者を出し四五日前から赤痢患者三名を出して居る。是等の患者は總て子供であるが其病因は淫杏や不熟の果實を食用した者に多いさうである。

◎謠言の背後に？
張督軍の取締

近頃奉天其他各都市に於て支那人子供の行方不明こなるもの頻々なるより人心恟々こして一種の暗氣漲り居れるを奇貨に排日支那人は種々の謠言を流布して良民を益々迷路に引入れつゝあるより此程張督軍は之等排日的行動を敢てしたる者に對しては嚴罰に處すべしこ嚴令を發し取締りつゝあれば表面頗る靜穩の如くなるも暗々裡に檄文を撒布して煽動し排日の氣勢を煽りつゝあり一說に據れば子供の行方不明こなれるは是等排日黨の行動には非ざるかこ其筋にては目下犯人嚴探中なりこ

◎思ふ儘に仔を產せる
朝鮮では初めての試み　‖馬匹人工受精法の試驗‖
牡馬一頭の精液で十頭以上の美しい仔馬が出來る

成歡名所の一に數へらる、赤池牧場では先年から數回に一頭小一萬圓も掛る米國產アラビヤ馬の種馬を四十餘頭も輸入して其後朝鮮產馬の改良に盡し態々米國から熱心であるが今月十五六日頃同所に於て『馬匹人工受精』を試驗的に實行するので當日は總督府や道廳から係りの人達が見物に行くさうである。馬は一頭交尾しても三四疋は虛脫して受胎しないもので或るが此の人工受精を行ふこ百頭中で受胎しないこは極少いの

◇**優に十頭以上** の良馬みならず牡馬一回分の精液で優に十頭以上の良馬を得るこごが出來るのである。先づ交尾期に入つた牡馬の精液を人工で採つて海綿に吸ひ込ませ其れを又絞り取つて器に入れ貯藏して置いて更に射精器こ云ふ簡單な器械で牝馬の子宮に注射するのであるが精液十グラムもあれば充分受精するのに牡馬の精液は大抵百グラム位あるから十頭以上の牝馬に注射して可い

◇**美い仔馬を產ませる**

ここが出來るのである、內地では既に此の人工受精を行つて騎馬の蕃殖を計り可也良い成績を擧げて居るが馬の精液は相當の施設さへ加へれば或る期間內は貯藏するこごが出來るので曾て東京で牡馬の精液を採つて青森に運搬し牝馬に注射して好成績を得たこごがある位である此の方法は朝鮮では未だ試驗的にも行はれなかつたが今回赤星牧場で率先して實行するのであるさうな

◎合併大相撲
釜山の初日

十四日は釜山に於ける東京大阪合併大相撲の初日なるが前夜の怪しかりし天候も漸く恢復し朝來澄照なれるより觀客は午前八時頃より續々こ詰め掛け釜山日報招待客及び釜山藝妓總見等あり頗る人氣を引立ち居れるが同日は勸進元中島文次郎のお好み相撲宮城川（東）に二瀬龍（阪）並に京城日報釜山支局のお好み相撲若常陸（東）に南龍（阪）の取組ある筈（釜山特電）

◎滿鐵お伽會
龍山日曜學校にて

滿鐵社友會にては滿鐵社員兒童の爲め十五日午前八時より社友會附屬日曜學校にてお伽大會を開催すべく甕に基督青年會より西伯利派遣軍隊慰問の爲め出張中なりし和田正彦氏の『西伯利土產』及び矢橋小龍氏のお伽噺等ある筈

◎國風音樂會

滿鐵社友會にては十四日午後七時より國風音樂會を開催琴古流尺八生田流琴ヴァイオリン長唄薩摩琵琶等あり

◎殺人事件檢證

京城地方法院金川判事花村、藤村兩檢事代理園部書記は坡州郡に於ける金順金氏兩名に對する殺人事件檢證の爲め三日間の豫定にて十四日午後一時南大門驛發列車にて出發せり

◎女髪結
競技大會こ　御婦人方に

京城女髪結組合では來る十七日本町喜樂館で

▽**競技大會** を開催する事こなつた而して其の後援を本社に申込んで來たので本社も其の擧に大に賛成して早速承知し且些少ながら賞品をも寄贈する事にした抑も女の髪こいふものは女の貞操に次いで大事なものである事は昔も知つて居る通りに生命であるこ人は髪を切つて居る世に社會的自殺をしたものも多かつた

▽**女の髪の** 扱ひ事は今更喋々を要せぬ而して其の扱ひ髪の取扱を司つて居る女髪結は其の職業も從つて貴重であらねばならぬ昔から一こ口に女髪結こ卑下する様な習慣になつて居るけれごこれは決して其職業が下品なからこ云ふのでは決してない其れは其職にあるもの即ち女髪結の人格が賤しかつたから從つて

▽**自然世間** から卑下せらるゝ様になつたのである女髪結其のものは女の職業こして立派な神聖なる職業である古來日本の婦人は世俗にも髪容こ言ふ程頭髪に重きを置いたものである

◇夏向きの結方　東京にて發明されたるもの

で昔の女には衣裳よりも髪に苦心したものがあつた綺麗な髪を立派に結ばれたのはプライトこして自らも

▽**鼻を高く** し人もこれを羨望したのである女に取つて髪結は頗る大切なものである髪結こ云つても一種の技術であるから人に依つて其の優劣のあるは論を俟たない其處で昔の人は知らず今日の髪結は互ひに其の技術を研究せなければならぬ其の形は昔から備はつて居るが世の進歩こ共に

▽**千篇一律** では不可ない春、夏、秋、冬で各々其形も變らう又人々に依つて其形を變へなくてはならない事は當然である其れが又今日では昔の様に畸形の醜惡許りでも不可ない衞生上其他に重きを置かなくてはならぬ點が多くある其處で絶ねず研究をする必要があるこ共に其の研究が如何に進んで居るかこ云ふ事は競技を以て始めて知る事が出來る而して婦人令嬢方は其の競技者の模樣を見て置く必要があらう其れは他人の爲めでなく直接關係ある皆樣の爲めである

女髪結競技大會
誰れが一番上手？　女髪結組合では常に進歩研究を獎勵して居ます　其處で其の始めての試みこして此の競技大會が催さるゝ事こなりました
一、時日　來る十七日午前十時より午後五時まで
一、場所　本町一丁目喜樂館に於て
一、出席者は京城女髪結組合會員に限ります
一、觀覽隨意入場歡迎
主催　京城女髪結組合
後援　京城日報社

◎雷右衛門を聴く

引退が行こして十三日から京城館に出演中の東洋軒雷右衛門を聴く。其聲、其の技巧、其態度に於て故雲右衛門ほご豪快味や深刻味がない代りこ小唄に婀娜れる潤ひを持つた美音が何よりの身上である。而して豪快、深刻、ハ味が缺いで居る代りに聞く時酒脱出の諧謔を見ずして樂々こ讀了する技倆は流石に老巧圓熟を極めて居る。殊に水府公の如き滑稽物を讀む技倆にても非凡である事は認められる。兎に角今回は同人が浪界から退くこごは非常に惜しい感じがする（斗醉）

義太夫天狗相撲

西　元山　川田光彩
東　新町　非倚　二人掛り　背登負　登初

光彩は聯にかけて大關、荒城力士と始めての舞台せなり登城『日光』にて一氣に押出さんとする光彩『木下』にて右を差し土俵際まで押迫り登初『御所』の跡際にて打棄らんさせし腰砕けて光彩の勝▲次ぎは非倚、光彩に掴まか似て居るので大喝采、非倚老き執つて二三度揚がれ忝みつゝ光彩の声にて立ち上るや四つに組んだ儘暫らく動かず、欠伸混りの[illegible]

◎日蓮研究會發會式

日蓮研究會にては蟠龍寺住職安住寺太郎、同高橋章之助、藤井百太郎の三氏を常任幹事こし來る十五日午後八時より旭町三丁目護國寺に於て其の發會式を擧行し式後渡邊學師の『開目鈔』の講義ある由

◎龍山本願寺御遠忌

龍山東本願寺にては十三日より十六日迄宗祖親鸞聖人御遠忌を兼ね納骨堂供養並に創立以來死亡者追吊會を營む由十四日の納骨堂供養の際は稚兒行列餅撒き等ありこ

運動界

▼二流チーム戰　十五日決勝戰

京城第二流チーム優勝戰は愈々十五日決勝戰が擧行される筈である東洋協會對鐵道第二選手共に二勝の雄者で、あるから兩軍の接戰は見物であらう場所は龍山鐵道グラウンドで午後一時より開催の筈

▼力士野球團の陣容

金釜山軍こ對戰して最後の勝負は決せざるも十回戰に五對五のクロスゲームで火花を戰はした東京力士野球團の實力は侮るべからざるものである投手高の山、阿里山常綠は幕下十兩の新進力士で高の山の魔球には流石の愛知一中さへ苦るしめられたこ聞いてゐるから本月下旬入城の上は京城野球軍こ絶好な試合があるであらう或は京城軍に弱味かあるかも知れない、京城記者團チームは是非挑戰したい希望を持つて交渉中である相な、力士團の陣容左の如し

投　高の山　常綠　阿里山
捕　花坂
一　常綠
二　阿里山
三　常陸嶽
遊　盤梯山
右　青木洋
中　芦田川
左　小城里
アネジャア　御西山

▼安東庭球軍遠征

安東の庭球混成軍は奉天軍の挑戰に應じ十四日夜行列車にて北行十五日同地に於て龍虎鬪の一快戰を試むべしこ（安東電）

◎漢江隧道の[illegible]調査

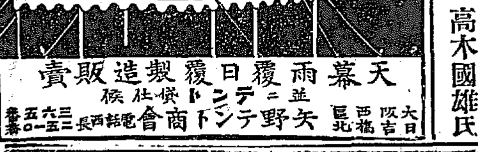
[illegible]六名の技術員こ共に調査に着手すべし

▽**平井技師** は語る『[illegible]急に船舶の航行も繁く足場を設くる譯に行くまいから陸地に竪坑を掘つて[illegible]多少の犧牲が伴はぬこも限らぬ』云云（下關）

◎連絡船上陸客　十三日

[illegible]一、鶴若又二郎、朝日丈留藏、五十嵐[illegible]梅、甲斐常一、木村玄堂、坂田すい、濱田與八郎、同挑技、同妙子、原朔次郎、鶴丸平次、小川勝吾、多田嘉けみ、八千代操、同こみ子、川口みて、同まさ子、同武俊、藤田きく、加賀美たま、同ゆきへ、朝千鳥並太郎、海山忠太郎、岡崎進、佐竹茂久兵衛[illegible]、大坊平清正、山本貞吉、水野代治、同守三、其阿彌德次郎、眞田傳太郎、伏見寛太郎、君ヶ濱太郎、高梨こみ、松浦さく、同てる、雷ヶ嶽、宮市[illegible]つ、同はるよ、小宮さの、同うめ、[illegible]田勝太郎、同よね、清船宗吉[illegible]ず、松本興一、丸山仁平、長谷川常一、小賀末一、仁田好館、佐藤好介[illegible]三、小泉修、大鳴戸、綾友、木下國一、山田辯四郎、岡庄馬太、伊東清次郎、村部啓代三、同鹿之助、伊藤政尚、源氏山大五郎、兩國梶之助、宮城山[illegible]

京城地方　天氣　曇但少雨


矢野テント
天幕雨覆日覆製造販賣
並ニテント賃貸業
大阪西區 長堀 矢野テント商會 電話西長三二六一〇五五番

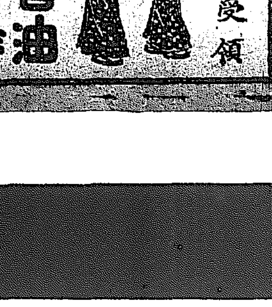
京城　高木國雄氏

松の花實入り　朝鮮名物　金剛飴
金剛飴懸賞意匠入選參等

鐵網混凝土
耐火耐震の家が出來る
東京芝區田町驛前　川崎工場

開祖東洋第一の本校卒業生は直に運轉手技師販賣員こなりて收入莫大なり甲種運轉手養成三ヶ月卒其他技術科設計科及校外生募集中
東京市京橋區　東京自動車學校　大阪市中島町　大阪自動車學校　福岡市　福岡自動車練習所
自動車

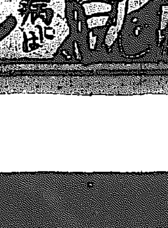
柳下駄各種　並に薄板製造
從來合名の處今回一手に引受け事業擴張し販賣に從事致し候間多少に拘はらず御用命の程を奉仰候
朝鮮新義州眞砂町三丁目　福永商會


登錄商標　金牌受領
本椿香油
男女頭髮用本椿ポマード
宮内省御用　九條公爵、北白川宮御用　毛を黑く長くつやを出し赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ
本舖　大阪西横堀　三宅堂

醇良清酒
京城岡崎町特約店　嶋屋總本店　電話九〇三番
元造釀　栗谷合名會社

京都產　金銀諸箔鈖
黄銅鈖。歯科用金箔。無地金屛風。押紙
右各種製造販賣
京都市御幸町御池南入　堀至善堂　電話上一五五九番　振替大阪六四四番
大阪市西區土佐堀南通四丁目　大阪支店　電話西八八七番

不効代償ニ引受ケ拾錢セル
マラリア特効丸
定價表金拾錢貳拾錢參拾錢五拾錢壹圓
販賣店各地有名藥店
本舖　龍山元町二丁目　林藥房
代理店　京城本町二丁目　合資會社山岸天佑堂
代理店　釜山辨天町　大黑南海堂
代理店　平壤大和町　森田草藥堂


強胃消化錠
八木田陸軍軍醫監 島田博士御賞用
アナタの胃病にはマーゲン
本劑の特色　マーゲンは純然たる漢法劑にして二博士の調製により胃病の根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し腸を強くする
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

[illegible]なり本院より派遣の[illegible]行して[illegible]掘つて見る積りである[illegible]は宮分事務所を下の關に置き此港は五十尺の水深に加へて潮流[illegible]いが水が澄ることなるこ[illegible]利用せなければなるまいこれには[illegible]

[illegible]郎、外八五名[illegible]二等（十三名）名留連一郎、宮崎吉三郎、藤井久藏、同木[illegible]郎、甲[illegible]水沼皆作[illegible]伊藤三、長井二郎、同平二郎、同百藏[illegible]佐野菊太郎、同せい、澤田金四郎、佐藤松藏、小宮友一、東三郎、同ま一等（三十六名）久保五郎、白石象綾子、其他三等八十四名[illegible]吉川康、鈴木光枝、中島孫三、中島[illegible]

記念　下關支局開設

關門と朝鮮
吾社下關支局設置

朝鮮の大日本帝國に於ける地位は、恰も蘇格蘭、愛蘭の大英國に於けるが如く、斷じて植民を以て視るべきものにあらず。即ち帝國構成の一要素として、ゆくゆくは內地同樣の地位を與へ、完全に法を實施せらるべきものたること、是は、吾人の年來主張せる所なるが、政治上の事は、今暫く措いて論せず。最も相互の關係を密接にし、不可分離の狀態に進むべき經濟的交渉が、併合後僅に八年有餘の日子を閱したるばかりの今日に於いて、異常の發達を來たしたるは、吾人の眞に欣快に堪へざる所なりとす。蓋し朝鮮の產業は、既往長足の進步を示し、之を舊韓國時代に比するときは、殆ど隔世の感あらしむるを得ず。而して其の產物の大部分は內地に向つて仕向けらるゝのにして、殘る小部分を以て、支那及び西伯利等の需用に應じつゝあり。殊に米、豆、海產物の如きは、一旦朝鮮の供給を杜絶せば、內地市場は忽ち一大恐慌を起すべきこと明々白々にして、朝鮮は實に日本帝國の一方の食料倉庫たりといふも決して過言にあらず。翻つて朝鮮に於ける生活必需品の供給狀態如何と見るに、織物、金物、木工物、其他各種の工業品、雜貨の大部分は、一に內地の移入に須つものにして、支那其他の輸入物の如きは、千百中に一二を算するに過ぎず。此の如く內地と朝鮮との關係は、先づ經濟上の必要に因りて緊密に結びつけられたるが故に、將來如何に意料外の變動が起ることありとも、其の緊結せる連鎖は決して解くべからず。之を單純なる政治的の關係上に立つものと比較するときは、其の粘着力の强大なるいはずして明かなり。內鮮間の連鎖は、將來ますます緊密を加ふるの一方のみなるが、其の鎖鑰を司る所の場所は、いふまでもなく關門埠頭にして畢竟鮮貿易の中心は關門に在ること別項に揭げて說明する所の如し。關門は由來日本帝國の咽喉部として、經濟上にも、交通上にも、はた軍事上にも、重要の地位を占むること、何人も熟知する所なるが、今や朝鮮貿易の中心地點として、更に一層の重きを爲すに至れり。かくして朝鮮に對する凡百の經綸は、關門の埠頭より發すると共に、關門の盛衰が朝鮮の隆否に關すること至大にして、關門は獨り內地の關門たるのみならず、又朝鮮の關門たる實なかるべからず。是れ地理的關係の然らしむる所にして吾人は想ふ、將來の對馬海峽は竟に門前の一溪流に過ぎざるの觀を呈するに至らんことを。

朝鮮と關門との關係は上述の如きものあるを以て、朝鮮銀行の如きは既に關門に支店を設け、又東洋拓殖會社も其出張所を設け、其他の業務の便益を圖りつゝあるが我社も亦後馳ながらも、最近同地に支局を置き、聊か自ら責務を完うせんと期したり。今や小規模ながらも、其の設備稍整ひたるを以て、本日を以て開業の披露を爲し得るの運びとなれり。吾人敢て自ら誇るの言を爲すにあらざるも、將來營に向つて微力ながらも貢獻を爲し得ることと信ず。特に新聞紙に貴ぶ所の報道の敏速は、此の交通の要點に支局を開設したるに依り、從來に比して大に步武を進むるを得べく、其結果は軈て新聞紙面に現はれて、聊か時代の要求に順應すべく、又關門埠頭に於ける重要なる出來事は、其の都度々々之を漏らすとなく讀者の眼前に披陳するを得べし。而も此の如きは新聞社の職責の當然にして、敢て以て誇りと爲すにあらず、只幾庶ふ所は、讀者の庇護と鞭撻とに因り、更に一層の進步したる完全なる機關を備ふる日あらんこと是のみ。吾人は更に此機會に於て內地人、殊に政治家實業家に向つて希望すべきことあり。他にあらず、朝鮮と內地との不可分離の關係は上述の如くにして、諸彦の既に諒知せらるゝ所たるに相違なきも、惜むべきは朝鮮の實狀實況は、未だ多く諸彦に熟知せられず、動もすれば誤れる報道に依つて、諸彦の判斷を誤らしむるの虞あること是なり。之がために吾人は諸彦に對して親しく朝鮮の視察を遂げられんことを希望したること一再のみならざるが、若し諸彦にして百忙を排するの機會なしとせば、少くとも正確なる報道を根據として、判斷の資料を收集せられんことを。吾が社は此の點に就ては、聊か諸彦に對し得るの誇を有す。將來も亦諸彦のために敢て執鞭の勞を吝まざるなり

關門地方の貿易
戰亂以來長足の發展を來す

△關門經濟概況

關門兩地は海に陸に運輸交通の便ある事は其の改善と共に益々殷盛を極め殊に歐洲大戰後の進步發展は頗る顯著なるものあり、抑も關門の地は水產業、石炭輸出を以て發展し來りたるものにして舊來時勢の進步につれ港灣設備整ひ舟車の連絡完備するに及び遂に其の面目を一變し現今に於ては門司は北九州の咽喉として下關は阪神地方と相並び朝鮮貿易の中心として發展し加之漁業の進步は關門地方をして水產業の主要地として更に一

社告

京城日報下關支局　丸山町　電話長一九八二　一九九六

今回右の處に本社下關支局を開設し支局長ニ梅谷啓治就職致候ニ付謹告候也

京城日報社

層の繁榮を增加せしむるに至れり而して其の貿易港としての價値を高め其の範圍は近くは朝鮮滿洲支那印度等を初めとし遠く歐米諸國に及び貿易高の如き年々歲々增加し旺盛に赴くを見る今之を統計に徵するに次の如くにして

▲門司港

項目	大正五年	大正六年	大正七年
移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入出目	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下關港

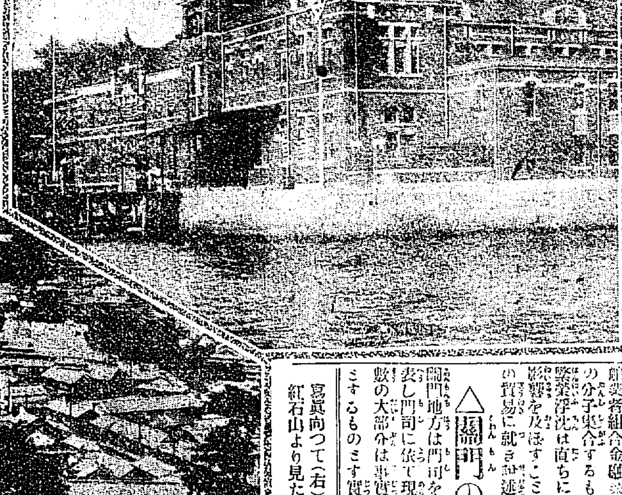
項目	大正五年	大正六年	大正七年
移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入出目	[illegible]	[illegible]	[illegible]

非常なる增進を示し其の發展の趨勢は急速にして停止する所を知らざるもの・如し此の如き盛況を呈したるは思ふに戰時の影響によること勿論なるも一面滿洲支那方面に於ける國運の伸張經濟上の發展に基因するは言を俟たず尙は當地主要產業の一なる水產業の發達は益々當地方を繁榮に赴かしめ其の漁業區域は朝鮮沿海州等に及び水揚高は少くも年六百五十萬圓餘、其大部は海外に輸出せらるゝものと謂ふ、此の如く關門地方は水產業を以て其の主要なる經濟となすが故に兩者の發展と共に貿易港の兩港に相往來するもの日に多く殊に外國船舶の出入に付いて見るも大正六年度に於て門司港に入るもの二千二百三十隻出づるもの二千二百四十一隻下關港に入るもの七十二隻出るもの五十五隻の多數に及び年々增加の趨勢を呈せり而して此等船舶は啻に船舶業者船具業者等にして利益を均霑せしむるのみならず食料品雜貨等の小賣商等に迄及び當地方の繁榮を增進せしむること尠少にあらず當市繁榮の過半は出入船舶に基くものと稱ふも強ち誇張の言にあらざるなり

翻つて當地活動の中心となり諸經濟を左右するものを見るに物品組合、倉庫業者組合、糖粉組合諸業者組合金融業者等にして諸種の分子集合するも要するに彼等の繁榮浮沈は直ちに當地方の盛衰に影響を及ぼすこと多し少しく關門の貿易に就き記述すべし

△關門の貿易

關門地方は門司を以て貿易港を代表し門司に依て現はさるゝ貿易計數の大部分は事實關門兩地を基礎とするものとす實際上の見地より



寫眞向つて（右）門司稅關（左）紅石山より見たる下關市街

觀るときは稅關關係の必要に迫られて已むなく門司を通過し他に輸送せらるゝ貨物も頗る多く而も金額の上より重要なる位置を占むるものありて直ちに貿易計數の表面より見て門司の貿易上の價値を打算論議するの甚だ困難なるは謂ふ迄もなきことなれど此等の事情は他の主要貿易港に付ても一なるべく包括的に比較し論評するも强ち其繁榮を多大に評價するの過ちに陷らざるべし今試みに我が主要貿易港の貿易を比較するに大略左の如し

●主要貿易港貿易額連年對照表●

港別		大正元年	二年	三年	四年	五年	六年
橫濱	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
門司	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	輸入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

門司港の貿易港としての計數上の價値左の如し而も其の價値は之を歐洲大戰前と比較するに其增加率の急速なる實に驚くべきものあり

▲門司外國貿易額（出超△）

年度	輸出（千圓）	輸入（千圓）	輸出入超過（千圓）
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

輸出に付いては六年度は元年に比し二、六倍強となり輸入に付いては一、七倍強となれり、而も之に看過すべからざる事實は大正元年度に於ては輸入超過一千百餘萬圓なりしもの大正四年、五年度に入りては徐々に順潮に復し六年度に入りては輸出超過に轉じ二百五十七萬圓の超過を見たること是なり是等の現象は歐洲大戰に際し我國の有する特種的地位に依るものにして戰後平和克復の曉如何なる狀態を呈するに至るや目下の所逆睹し易からず大體に於て戰前の如く輸入超過に終るや計られざるも又大戰四年間に蓄はれたる實力、輙く悲觀し去るに及ばざるべく要するに此等の問題は今日より容易に豫斷し能はざるものと謂ふべし次に下關港の貿易計數を見るに

▲下關外國貿易額（出超△）

年度	輸出（千圓）	輸入（千圓）	輸出入超過（千圓）
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

門司に比すれば常に輸出超過を示し貿易額も漸次增加しつゝあるも貿易高に於ては到底門司に及ばず貧弱なること夥しきも此は稅關事務其他の原因によりて下關は其の實質を門司に蔽はれたるに過ぎず然るに世人多くは計數を見て其の實質を窺はず直に下關の實勢を疑ふものあるも之れ皮相の觀察にして實際より見るときは兩者の優劣を區別すること甚だ困難なりと謂ふを至當とすべし概言すれば門司側は石炭輸出港として表れ輸入としては機械類ありて其金額尠少にあらざるも一般商品の輸入は下關却つて門司に優るものあるべし表面上よりは倉庫の關係によりて一旦門司側に納むるもの多けれども之を所有し之を動かすものは下關商人なること多く之等は兩市商人の分布狀況によりて略推察することを得、即ち門司にありては石[illegible]の商館、船舶業者運送業者多きに對し下關にては麥粉砂糖、米穀商等によりて代表せられ近來殊に麥粉砂糖に付ては東京大阪神戶に次て重要の市場となれる關係上、小麥、外國粉原料糖類の輸入も大部分下關にて消化せられ其の數量多大なるものあり尤も北九州に於ける大里久留米兩製粉所、大里日糖工場の品原料は門司より通過するもの多けれども尙原料關係に於て下關の庇護を蒙れるもの尠しとせず。一般外國貿易に付ては上述の如くなるも關門は露領亞細亞、支那關東州滿洲朝鮮と密接なる通商關係を有し就中下關は朝鮮貿易に於て重要にして特殊の位置を占むることは夙に世人の熟知する所にして關門の對鮮貿易中下關の占むる所のものは殆ど其の八九割に及ぶ、今左に其の趨勢につき過去數年間を比較すれば左の如し。

門司港（出超△）

年度	移出（千圓）	移入（千圓）	移出入超過（千圓）
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

下關港（出超△）

年度	移出（千圓）	移入（千圓）	移出入超過（千圓）
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

關門兩港の移出入を比較するときは外國貿易と殆ど反對する傾向を有し移入の增加急速にして昨年度に於て移出入殆ど伯仲せり而して其の貿易額は愈增加し外國貿易の約半に近接しつゝあり以て此の地方の朝鮮貿易に對する地位を知ることを得べし、更に其內容について見れば移出方面に於ては砂糖、銅鐵製品、セメント等を主要なるものとし移入方面に於ては米穀、小麥、鐵鑛、銅塊、豆粕等主なる所となる、性質上貿易計數に表るゝ所となるも近年關門の水產業は異常なる發達をなし朝鮮南北の漁場は實に下關を中心として行はれ從て其の捕獲魚類の當地方に出入する額尠からず此の點については後述する所あるも朝鮮方面につき更に支那滿洲關東州露領亞細亞方面に於ける貿易の狀況を見六年度の貿易內容について察するに貿易趨勢は常に輸出超過にして關東州にあつては鮮魚介、精糖、小麥粉、礦油、綿絲布、セメント、窓硝子、鐵製品を輸出主要品とし輸入主要品として銑鐵、食鹽、豆粕、石炭、骨粉等を輸入主要品となす又滿洲に於ては輸出品は精糖窓硝子、綿絲布類を主要なるものとし輸入にありては銑鐵豆粕を其最たるものとす更に支那に於ては輸出品中鮮魚介、鹽魚、小麥粉、精糖、木材、石油礦油、晒粉、藥品、綿絲布、窓硝子、鐵製品を其主なるものとし輸入側にありては鷄卵、コークス、石炭、銑鐵、鐵鑛を其主要なるものとす終りに露領亞細亞に於ては米、食鹽、精糖石炭、亞鉛、鐵製品を主要輸出品とし鐵、亞鉛鑛を輸入主要品とす

商況　株式

◎東京現株（電報）　▲印騰貴　△印下落

銘柄	一株拂込	十三日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	△一九四、〇〇〇
同新	五〇、〇〇	△一四四、〇〇〇
東電	五〇、〇〇	▲六一、五〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲八五、八〇〇
同新	三七、五〇	四五、〇〇〇
殖銀	二〇、〇〇	四九、五〇〇

◎東京株式（至急電報）

銘柄	十三日前場大引	前日後場比較
東株	三〇五、八〇	……
同新	二八九、〇〇	……
滿鐵	一五九、〇〇	……
一新	一三七、〇〇	……
二新	一〇一、六〇	……
商船		……

◎大阪株式（至急電報著）

銘柄	十三日前場寄付	十三日後場寄
大株	三三八、九〇	三四四、九〇
同新	三四二、一〇	……
日郵	二五八、九〇	二六八、九〇
同新	一二〇、〇〇	一二五、一〇
商船	一七二、四〇	一七七、六〇
同新	一二二、〇〇	一二五、三〇
鐘紡	三六四、九〇	三七〇、一〇
同新	三四二、九〇	三四六、九〇
東紡	二五二、九〇	……
東糖	一四四、六〇	……
堂米	一五八、〇〇	……
上取	四九、五〇	……

◎京城現株（標準値段）　▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	現相場
仁取	二五、〇〇	▲一〇二、〇〇
鮮京	一〇〇、〇〇	……
同新	五〇、〇〇	……
東拓	五〇、〇〇	八六、〇〇
同新	一二、五〇	四四、五〇
殖銀	二五、〇〇	五〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇
滿鐵	一〇〇、〇〇	一六三、〇〇
第一	六〇、〇〇	一三九、五〇
第二	五〇、〇〇	一〇三、五〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二〇、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	▲一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	△二〇、〇〇
朝紙	一二、五〇	一八、〇〇
商銀	五〇、〇〇	六一、〇〇
鮮毛	一二、五〇	一九、〇〇
鮮煙	二〇、〇〇	二三、五〇

◇東京株況特電

新東株に人氣集中し東西共買方優勢なりしが近來其の取組益々激增し現株の喰合ひ二十六萬株に達し現株受渡不能の爲め十一日夜半取引所に急遽重役會議を開き十二日は玉整理の必要上遂に休會と決せり十三日立會の可能なるや疑問なり（十一日東京發電大延著）

▲內地株商內薄

電報大遲延の爲め昨日來內地株は商內皆無の狀態にて只少數の地場株の動きを見るのみにて一般に閑散なり本日の商內株左の如し

▲仁取百二圓五十錢より三圓迄百枚▲紡織十九圓九十錢より二十圓十五枚▲電興十八圓にて百枚▲皮革二十七圓にて百五十枚▲東畜十五圓五十錢にて三十枚

▲東畜株上伸す

東洋畜產株は十三圓五十錢處に居据り久しく動かざりしが昨日午後壹圓五十錢方の高値十五圓買ひ十五圓五十錢賣りにて三十枚の商內を見たり

▲糸崎株買萌し

目下內地株式店に於て盛んに賣出しを開始中なる糸崎船渠株は前途有望なりとして當地方よりも買望み頻々ある模樣にて値頃問合せ中なるも例の電報遲延の爲め本日午前中未だ回答なかりし

▲仁取株引締る

久しく百圓處に保合ひ居たる仁取株は其の後田舍筋より彌々作ら高値を厭はず買進む者あり又取引所取組高に於いても昨今稍減じたりとは云へ內地電報大延著の影響を受け居る事勿論にして而かも尙ほ十萬石を下らずとせば電報回復後は優に三割以上の配當を可能ならしむる業績を擧ぐべく殊に同株は京城、仁川、釜山、群山、鎭南浦の五ヶ所以外は殆ど當を見ざりしを以て其他の田舍筋の買望みは此後益々激しからんとする趨勢を示し現に昨日某店へは百七圓五十錢の新高値を以て田舍筋の買注に應じたる程なるが之れを以て直ちに標準相場と做し難きも勞々奧地よりの買希望を證するに足るべく爲めに本日は當地の相場も稍引締まり一二圓高の百二圓五十錢より三圓迄の商內百枚ありたり

▲仁川は保合

一時熱狂相場を唱へし仁川取引所株も此頃期米の保合にて商內を減じたれば人氣振はず賣方も見送りの姿なるが安値は賣り應ずるもの更になきのみか强氣筋は買狙ひの振合にて百三圓より五圓とを保合へるが如し

米況

◎下關期米特電

●十三日後場（各地高落　制押日買）

	當限	中限	先限
寄附	三七、八〇	三七、四〇	三八、九〇
高値	……	三七、五九	三八、二〇
安値	……	三七、四〇	三八、一〇
止め	……	三七、五九	三八、一〇

●仁川期米

▲十四日前場（寄高後安）

今朝天候晴天各地人氣未著なるも前日大阪の止高を移して人氣强硬に立會ひ當中出來不申先三十七圓三十錢も七錢高に寄付き二十五錢と弛みしも押目は買物多く三十四錢と反撥せしも高値は利拔賣に壓され二十九錢と押し二十九錢と引

▲第二節　當中出來不申先二十八錢より賣物ありて五錢と弛みしも安値は買物ありて二十九錢と返し七錢と引

▲第三節　當中出來不申先二十八錢より六七錢を保合せし機先買物薄に弱氣筋の賣叩きに十三錢と下押せしが押目は買物ありて十八錢と返し引

▲第四節　十八錢より買物多く二十八錢と跳返し七錢と引

▲第五節　三十二錢より買物多く三十四五錢と反撥せしが高値は賣物多く十九錢と下押し八錢と持合ひに散會せり

仁川米豆取引所仲買人　〈マ〉　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六〇〇　一六五番

大阪昨止め高を移し人氣高に三十錢と寄付四錢と撥ねしも戻りは㊉④田⑦の利拔き賣に二十九錢と下押し崩れの綿出に大混戰を演じしが東京株式の暴落による期米安見越しの賣氣を催ふし十三錢と叩きし折柄大阪高の早耳筋の猛烈に買進再び三十九錢と反撥し高値は眼先利喰に支へ二十八錢と押して打止めたりマバラ筋は此間好く飛付著しく相場の上下にカブレ來れる有樣なり

十四日前場

寄付	三十七圓三十錢
高値	三十七圓三十九錢
安値	三十七圓十三錢
止め	三十七圓二十八錢

◇出來高　七萬七千四百石

◇平均値段

一節	三十七圓三十一錢
二節	三十七圓二十七錢
三節	三十七圓二十二錢
四節	三十七圓二十四錢
五節	三十七圓二十三錢

帳入値段　三十七圓二十五錢

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　〈団〉仲買店　電話長九〇五番　八三三番

◎訂正　十三日前場出來高一萬五千七百五十石とありしは七萬五千七百五十石の誤りに付訂正す

市場雜觀

內地電報の延着で一般客は迷され買りては煎れ買ひては投げ保合ひ相場に多額の損利を爲して居るが米價の前途を何れの方面より觀るも八月限の米は賣る餘地はない樣に思はれる況して內地は供給不足で當局者が謂はず語らず鮮米に注目して外米を種に裏を切り鮮米の買付けを爲し米價の緩和を圖らんとして居りはすまいか最も內地の弱材料とする外米も歐洲食糧問題の缺乏を訴へ產地は益々引締りを移せしのみならず意の如く內地輸入を許さざるにあらずや然れば當局が如何なる對應策を施して買方を苛めを遣つても却つて夫れが一層相場を高くせるとも動搖は造りはすまいか何を云ふても調節を賴みに弱氣が理想に走り不削を賣り叩くから十圓盤から割出した强氣は買はずに居られない玉を仕掛けて期近の切迫を待ちて居れば十圓盤知らずの賣方は煎れて相場を高くしてくれるからコンナボロイ儲はないと益々買手を振らして居るが相場は自然と引締りし昨後場は三十七圓二十七錢と又復高値を付けた大阪も新市の生れ値に手が届いて來た此の調子なれば高いと云ふのが頻る知れん今朝も立會は大阪前止め三十五圓三十二錢の高移しに人氣旺盛に三十七圓三十七錢と寄付き二十五錢と因⑦④の利喰ひにト押せしも日曜明を見越して煎れ物綿出し三十四錢に反撥し高値は利拔きに大混戰を演じたるが人氣は高に變化せし傾向なるがマバラ筋が買付けば相場は意地の惡しき者で下に走りはすまいか三十四錢は伸悩んで頭重き商況を示し居る結局は高いとしても餘り人氣に乘じて買付くと逆に走るが相場の例なるが如し

▲京城正米市場

政府に於ける鮮米買附方針の色彩濃厚となるに隨ひ正米市場の人氣は漸次强調を帶びんとする傾向にて米に對する運賃の低減乃至輸送力の增大等は鮮米移出の大激增を促すと同時に今日の米價は前年に於ける小西の買占め當時と同樣若しくは夫以上の高値に騰るべしとの觀測專ら鮮商間に行はれ昨日頃より彌々思惑を萌さし今朝は之等手筋の買附更に盛んなるが如く此處折角變質恐れの賣物等の現はれ始めし機先斯かる成行きにて出廻り再び乏しく爲めに注文貼みの精米筋は原料買附に少からぬ打擊を蒙り必需物は不斷を泥むで進まざる可からざる成行きにて氣配は地摺三十四圓八十九錢と一二十錢方引締まれり元來拂秩無能を見極め且つ變質恐れもある今日にて徐々人氣の軟化すべき害なりしに斯くも反對の步調に至れるは全く商則に於ける先高夢想の思惑によるものにして政府筋の鮮米買附は果して今後幾何に達するや知るべからざるも既往の態もあり政府に於ては一時に多額の米を買附けて人氣を煽るが如き事なかるべし而かも尙相當輸出餘力を存する今日之が爲めの思惑は頗る危險といはざる可らず政府の米調節は飽迄不干涉主義を持し經濟方面より積極的に具體化せんとするにあれば何時如何なる根底ある材料の突發するや測り難し

▲鮮白引締まる

鮮白は定期高及び原料の引締りと思惑機先にて今朝は約三十錢方高の三十八圓七十錢に上れり

▲仁川正米市場

高値を追らんとする正米も期米の保合ひに仲悩みの傾向を示したるが昨後場各地の期高を移して正米の買注文に人氣引立ち平澤神力三等合格三十六圓八十錢より七圓見當を唱へ居るも賣りたる買物方の買方も品薄にて纏りたる內地注文に應じ難き狀態なれば現在の如き產地の出廻薄にては品カスレの趣を出現するにあらずやと手持筋は容易に放たざるが如し地廻玄米も穀々高人氣を唱へ三十五圓七十錢見當に買望み多きも賣り應ずる者少く自然高値買進むが如し

▲釜山正米市場

內地期米引續き硬調を呈し大阪先限三十五錢高を入れたるを以て相場は稍活氣を呈し相場三等神力三十七圓四十錢所を唱へ三千五百俵許りの商內ありたり大豆は相變らず持合にて滯商內なり（釜山特電）

◎大阪三品特電

十三日後場　綿布三銘

限月	
六月限	四六九、七〇
七月限	……
八月限	……
九月限	……
十月限	……
十一月限	四三一、二〇

▲綿布見送閑散

大阪三品昨後場入電は當限四百六十九圓七十錢、先物四百三十一圓二十錢の移りなりしが昨今電報の延著甚しき爲め兎角商機の後れを缺き一般商內の見送りを餘儀なからしめつゝあり氣配粗布先物十八圓九十錢二十圓唱へなるも双方眼先思惑に顧らず買はずの閑散市況なり

◎生絲相場

總督府入電（十三日午後九時發電）標準物の賣行無けれども信州器械上一番格にて本日の見當相場

二千圓　米國向きより引締き買氣あり、綿價もヂリヂリ引締まり氣配益々堅く先行一入好況を呈するならむ

●支那粟も高構

支那粟は過般來の入荷により各地方共に供給過多を見越し昨今一般買控方針となりしが頃報の如く產地は在荷薄と銀相場との關係上引合ひを付け本月以降は輸入不引合なる模樣にて當分輸入のご望みなき場合前途は反發高の望みもあり雖何分眼前の不人氣を惑的に先物に對する氣分ありかく一致し地方筋は此處却つて出想に一方現物も徐々在荷減退を見つゝあり兎角相場は下押し傾向あり朝めは海城物十三圓三十四平街十圓當が頭重き風情に見られたり

●大豆眼先安乎

大豆は其後內地の成行き一頻煮切らざる爲め進むで望取らんとする向なく龍山物は唱へ十七圓見當なるも昨今大阪沖著の十九圓五十錢處を報じ之より諸掛り物價をみる時は當地の十六圓近かくならざれば算盤採れざる譯にて眼先今後持主側の屈し來らざれば却々商內見難かるべし

日本名刀傳　七十六

東京　田邊南龍講演

五郎正宗（二）

將軍となれば尚さら以て右馬之丞行光、後藤を致します、此頃ほひ日本國中に刀鍛冶も多くありましたが、京都に參つて畏れ多くも一天萬乘の大君の御劍を鍛へ奉り、禁裏御番鍛冶に出世いたしたいとは、誰しも願望いたし居りまするところ一體禁裏御番鍛冶と云ふのは、後鳥羽天皇の時より始まり、足利の中世頃迄は五年又は十年に一度位宛京都に刀鍛冶を集められて、其の中の優秀の者から選ばれたやうであります、行光も日頃から懇望いたし居りましたが、京都に上つて永らく滯在いたし、刀を鍛へまするには、非常な御用大金が要りますから、腕は出來て居る人であるが心に思ふばかり、然るに此のたび朗の助力、大金を貰ひ受け日頃の念願叶つて京都に參り、旅宿を定め、仕事場を造り、齋戒沐浴、身體を淸め、一心不亂と相成つて數振の刀を鍛へ、其の中に最も自分の心に名刀と得心の出來ました劍を九條關白樣の御手を經て納め奉りましたところ、其の他の刀鍛冶より數多御檢分を願ひましたる中、取別け優れたとあつて、大君の御護り刀に御採用あらせられました、行光は天にも昇る心地、も御禮を申上げました、それより九條關白樣の御館に滯在を許され種々御斡旋を蒙り、左近大夫と任官致しました、所が此の九條關白の御邸に行儀見習ひとして奉公して居つたお鶴と云ふ女、容貌も美くしい上に心も優しく、種々と行光の世話も致します、」俗に云ふ東男に京女、行光も美男子、兩人は何時とは無しに馴染んだ、愈々行光は鎌倉へ歸る日が近づいたので、いづれ近々迎ひに來るから此事は誰にも話して呉れるな、大切な禁裏のお役を勤めたいくら歸り途とは言ひながら女と馴染たなどと言はれては名前に拘はるから、と賴んだ、女も承知して決して誰にも話しませんから成るべく早く迎ひに來て下さいと、涙ながらに別れました、行光は今は左近大夫と任官したので普通の刀鍛冶ではない、故鄕に飾る錦の袖、意氣揚々と鎌倉に戻つて參りました、朗や妻の喜び一方ならず、勿體なくも禁裏御番鍛冶に出世いたしましたゆゑ、家を新築いたし、白壁造り、冠木門、玄關構へ、特に御免の菊桐の御定紋附きたる高張提燈を立て、行ひを愼み、仕事に念を入れて居りました、今まで世間に知れない藤三郎行光の名が左近大夫行光と相成つて、遠國にまで鳴渡りました多くの刀鍛冶は行光の出世を羨み實に果報者よと噂を致し、何卒我くも禁裏御番鍛冶に出世いたしたいと、心掛け好き者は行光のことが獎勵となつて勉強いたします、尤も年々御檢分に供へまする刀で御選みに漏れましたものは、御武具庫に幾十振となく納まるのでした、行光は夫婦の仲も睦ましく、新太郎と云ふ子を儲け、益富み榮へた、こゝに千年の星霜を經ました、仕事場には粗格子を立て七五三の注連を張り、鞴場を設けてあります、橫座の上に行光が座を構へ、」小槌を持つて身構へる、大勢の弟子がジッと見詰て居る、總領弟子の衆吉が向槌と申して柄の長い大きな槌を振りかぶつた　行『衆吉待て待て』衆『へイ、先生、何で御座んす』行『お前の足の踏張り方が違ふ、毎度言ふではないか『丁』の字の形に足を踏むのだ』衆『へイ』行『右の足を前にずつと出して、左の足をもつと引いて橫に踏張るんだ、一度言はれたら覺えて居なくちやアならないぞ』衆『へイ』行『お前は總領弟子ではないか、前槌を打つときには、口を結んで、下ッ腹にウンと力を入れて、……ソレ口を閉て鼻で呼吸をするんだと、幾たびお前は聞いて居るんだ』衆『へイ、へイ』行『口で呼吸をして居ては、腹に息は這入らない、鼻で呼吸をするやうにして、下ッ腹に力を十分入れろ、……さうだ、さうだ、皆能く見て居ろ、聽いて居ろ、口やかましいやうだが、仕事に掛つては容赦はしないぞ……ソレ』テーン……衆吉は大槌をカーン……と振下した、テーン……カーン、……チンチリン……テーン……カーン……チンチリン……チンチリン……テーン……カーン……と、十二陰陽に打込む槌、陰の槌が六つ陽の槌が六つ、十二度に打込みます、これぞ一年十二箇月に象り打方、時々一つづつ餘計に入れる槌、之れは閏月を現はします

吳服 京染 蒲團　御染特約店　地方御用命は早速送り升　京城本町三丁目（電三〇六八）　ふらぎ屋

◈大連近事◈ 大豆の混合保管

過般來問題となり居れる大豆混合保管に就ては當事者間に種々講究を重ね居れる如きも殊に滿鐵當局に於ては實驗に依つて、可否を決すべく案を樹て、毎日埠頭着大豆を一所に入替へ檢査の上更に麻袋に詰め替、倉庫或は野積場に搬入せんとするものにして貨車到着の箇所に一貨車三個宛總數二百箇所計りの大タンクを据付くる目論見の由にて十日午後滿鐵關係當局出張、西野積場保線事務所西の線路外に二十尺に十一尺深さ七尺の木製タンクを据置貨車積の大豆を麻袋の口を解きて移入せるが一車三百袋の大豆を約一時間二十分にて移し了り、更にタンクの底部より排出して麻袋に詰め替へたるが豆粒の流下道の斜度足らざる故か流出良好ならざりしと尚實施迄には改良に改良を加へ、幾多の實驗を經たる上的確なる良績を踰し得たる上なるべしと

京城長谷川町鐵冷温泉前　內科 痔疾花柳科 一般外科　岩田病院　從五位勳三等 岩田末彦　入院隨意（電話一六二〇番）

◎忠南献穀田　田植と見學團

本月十日は忠南論山郡夫赤面夫人里永津市作奉耕の新嘗祭獻穀田の田植日なりしが日和は頗る順調にして道より石塚技師出張監督の下に耕作人自ら田植をなせるが午前十一時に始まり午後一時を以て終了せり當日は江景普通學校論山普通學校、及馬九坪小學校敎員生徒等の見學あり尚忠南燕岐郡觀光團五十餘名は郡守、郡庶務主任、農業技手等に引率せられ來觀し是等學校生徒及び觀光團に對しては夫々石塚技師より獻穀田に關する講話ありたり（公州）

◎慶北の檢穀成績

五月中に於ける慶北道内米穀檢查所に於ける檢查成績は金泉二萬四十四叺、龜尾三千七百五十一叺、倭館一萬六千三百五十叺大邱二萬二百七十二叺、慶山九千三百八十叺、淸道四千百四叺浦項百三十八叺、開浦四千四百二十四叺、合計七萬八千八百六十叺累計七十七萬六千六百三叺にして前年同期に比し二十六萬五千七百五十一叺を增加せり而して大豆に於ては金泉三十叺、龜尾四十四叺、倭館八千四叺大邱一千六百七十六叺慶山二千百四叺、淸道二十四叺、浦項二十七叺、開浦三十一叺、合計一萬二千叺累計十九萬七千八百五十三叺にして前年同期に比し八萬五千二百五十叺を減少せり之れが減少の原因は米價騰貴の爲め主として大豆を食料となしたる結果なりと

◎製氷開始（釜山）

釜山水産株式會社附屬事業たる製氷所の工事愈々竣工し既に瓦電會社の送電を得て試運轉を了し十二日午前十一時同所構内に於て釜山官民の重なる者を招待し竣工式を擧行せり當日來賓各一同に製氷作業の實況を觀覽せしめ宴に移りたるが一同來席の上大池會頭の挨拶あり次に來賓者を代表して松井釜山稅關長の答辭並に朝鮮水産組合長林駒生氏の祝詞ありて午後二時散會せるが出席者は約二百名にして實に盛會なりし

六月十六日

日曜日　（舊）五月十九日　▲つちのと　▲三碧　▲暗劍　▲大安　▲破　▲さろ　瑞典皇帝グスタフ第五世陛下誕辰日

▼三碧▲思慮の足らぬ勝の日なり
▼四綠▲何ごとか嬉しきことある日にして案ずるより産むが安き日
▼五黃▲ちよつと考へ過ぐる日也
▼六白▲表面不愉快なる日なれども強て仕事を勵まば好き報ひあらん
▼七赤▲願ひ望みの叶ふ日なれども心に驕慢の意あらば凡て遂げ難し
▼八白▲和合の日にて萬事内輪の事はスラ〳〵面白き樣に纏るべし
▼九紫▲勇氣の出る日なれば此の機を外づさず目的に進むを可とす
▼一白▲悠つくりとしたる温やかなる日にて案外利益の多くある日
▼二黑▲長し短しに終るべき日也

演藝案内

本町二丁目 電一〇五〇 壽館　▲浪界の巨將東洋軒雷右衛門一行 當る六月十三日午後五時より開演
▲建久曾我 東洋軒雷月　▲ロンドン電報 霧島秀狼　▲放シ島 關東三好　▲忠孝美談 中村右衛門　▲力士と藝者 桃中軒雷雲　▲一休禪道 東洋軒　▲赤穗誠忠錄 京山呑笑　▲日本一水府老公 雷右衛門

京城本町 電話五七八 壽座　▲壽座新築に付愈々最終大興行 喜劇 喋島會文福外男女優大一座 六月十四日午後六時開演（七日目狂言）
▲苦學生 三場　▲秋吹風 三場　▲情け 三場　▲喜劇 うつゝと白浪　▲サッポロビール會社大々的後援

本町一丁目 電五九七番 喜樂館　當る六月拾三日より特別大作品提供　▲實寫南米猛獸狩　ニコ〳〵活劇▲大滑稽デブ君の結婚 二巻　米國メトロ會社製作映畫の最高權威　文藝チャーレス・ローゲ氏主演作　社劇 宿怨 全六巻 名女優エセル・バリモアー嬢出演　日活會社本年度新規撮影 中山安兵衛一代記 全七巻三百〇八場

電（晝間）二二六六 話（夜間）二六三七 黄金館　當る十三日より愈々現はる新派大悲劇 旭權九郎 全七巻 千尺　悲劇 露の若草 全七巻

京城明治町 電話二六〇 浪花館　浪界の總帥 橘雲平一行名人揃 六月十二日より（午後六時開演）
▲荒木又右衛門 橘平　▲寛政力士傳 橘雲大橡　▲左甚五郎 京山恭聞　▲義烈百傑 天中軒透雲　▲水府老公 桃中軒福助　▲軍事探偵　▲義士傳 橘雲平

櫻井町 電話八七三 大正館　當る六月十二日より特別大興行　▲平素御愛顧の御禮として入場料普通　◎米國キーストン會社傑作 ニコ〳〵劇「危い航海」全二巻　▲米國ヴァイタグラフ會社特作 大活劇「間諜の死」全五巻　▲日活新派悲劇「俠艶錄」大雄篇

黄金町長橋町入口 電話二九一六番（大口歡迎）田村質店 商品擔保便利取扱

健胃固腸丸

腹痛　下痢

▼本劑の効力
食過ぎ、飲過ぎ、水あたり、食傷り、寢冷、澁り腹、吐瀉、消化不良、時候の障等より起る下痢病と腹痛には速にして偉大なる効驗あり
○常に用ふれば消化を能し腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし
○夏の家庭と旅行には必ず用意せらるべし

藥價　五拾錢　參拾錢　貳拾錢　五圓　參圓　壹圓
○各地藥店に販賣す
○僞物あり商標と本舗の名義に御注意あれ
○特に服用易き小粒製の小粒健胃固腸丸あり
○兒童用として小兒固腸丸もあり
本舗　大阪 東京　谷回春堂

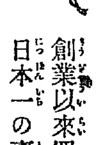
●小男も大男となる
◎伸長器の發明　◎器械無料貸與
男女共背が低いと一生の間何の位損か分らないが最近特許局の登録を受けたる身長器は全身の骨と骨との間の軟骨を伸長せしめ背の高くなること請合ふ

器械貸法所

宮内省御買上品
原料香水 オリヂナル

やつぱり私の理想はオリヂナルの匂ひです
衛生口錠 カオール本舗 安藤井筒堂

脚氣病特効藥
ベリスチン
藥品の眞價は實效にあり
脚氣病に就き未だ特効藥なきを恨事とせるや久し玆に東西の諸學説に基き多年研究の結果少量の内服にて奏効顯著なる製品を提供せり切に大方國手の御採用を懇請す
▲粉末　▲丸劑　▲注射液あり
發賣元　大阪市東區道修町三丁目 田邊五兵衛　大阪市東區平野町一丁目 岸田市兵衛　東京市日本橋區本町四丁目 田邊元三郎

金銀賞牌廿四個受領

美味滋養
まだ〳〵健康になる
創業以來四十年間日本一の賣行ある
蜂印香竄葡萄酒を
毎食前一杯づゝで常に缺さず召し上れ　どなたもまだ〳〵健康になる！

東京本町　株式會社 近藤利兵衛商店

人參に優る强壯劑

淫羊藿エキス
通稱三枝九葉草エキス
全國一手販賣　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番
京城特約店　北山　岸天佑堂

京釜線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線　馬山線　聯絡

京城日報

第五版

國際都市に就て(三)

法學博士 穗積重遠氏談

而して其國際都市設計の大略を見るに總形はブラッセル市よりも稍大なる長楕圓形にして學問、藝術、運動の三中心より成る今是れを東京の地形に比すれば假令ば本郷附近を學問中心とし丸の内附近を藝術中心とし芝の埋築地附近を運動中心となす如く是れ等三ツの中心を定められて藝術中心にては專ら藝術の研究に資し運動中心にては體育に關し學問中心にては世界の心理に關する諸般の建築物の設備を施すといふ計畫である私は先づ其一例として學問中心の設計に就て大略を紹介しよう、學問中心にては國際會議の常設館たる國際會議館を四箇所に設備し其の一は農業及び運送に關するものとし今後に於ける世界の問題たる食料問題が最も重大なる以上食料問題に伴なふ運輸問題即ち食料を世界に配給する必要上農業運輸の事を同一館内に議せしむべく設備し第二に工業の發明顧問となし第三に醫學衛生に關するものを置き第四に法律刑事學を扱はしむるのである而して學問中心の附屬建築物には研究用の書籍は勿論統計表等を集めたる國際圖書館を設け其他國際裁判所國際銀行國際手形交換所及び宗教院を設置するのである此の宗教院といふのは數多き宗教を總めて一宗教となす目的ではなく宗教の目的たるものが只一つより無いのであつて而も其一なる目的に向つて進む宗教に數多き宗派がある其の異なる宗派の爭ひに依て大なる禍を惹起する例を見るに至り遂に此宗教院の設置を計畫するに至つたのである而して其目的こいふのは各宗教の代表者を集合して協議せしめ『わけ登る麓の道は多けれご同じ高嶺の月をこそ見れ』こいふ意を眞實に解せしめんこする意より出たるものらしい又裁判所や法律研究所等を設置するのは即ち世界的に法律を統一せしむる目的である我々の如き法律を以て世に立たんとするものは動もすれば形式的に囚はれる傾向があるが藝術家たるアンダーゼン氏は法律に對して實に面白い感想を抱いてゐる即ち國を異にすれば從つて人情を異にし風俗を異にするものである併し乍ら同じ人類である以上國際生活といふものを爲さなければならぬ此の國際生活といふのは決して避けようとして避くべからざるものであつて是れは徒らに論ずるの要は無く現在に於て事實に現はれてゐる所謂人間が世界の人類として立つ以上必ず國際法律といふものが必要であるそこで此の國際法律を設定するには此の會議館に於て研究なさしめたいといふのである目下國際法といふものはある併し此の國際法といふのは國こ國即ち例へて言へば日本と英國とが平時には如何にして又は戰時には如何にするといふ唯單なる國こ國との法律であつてアンダーゼン氏の計畫は是を今少し世界的に徹底的にせんこするのである或は漠然たる感があるかも知れないが決してさうでない既に交通著作權經濟手形等に於て全然世界的法律の決定せられたる者が無でもない唯是等を全般に亘つて定め度いといふに過ぎぬのである例へば商業上勞働法等の全般であつて目下の國際聯盟に勞働法の統一を計らんとしてゐる如きものをアンーダーゼン氏は既に戰前十餘年に於て是を自發してゐたこいふ次第である是等を思へば實に是が專門家たるものは恥かしき次第ではあるまいか今日條約を結ぶには一度會議で決たものを委員が本國へ持ち歸つて更に協議を凝らすのであるがアンダーゼン氏の計畫は即ち各國委員に依つて決められた者は直にそれを以て國際法律となすべく進歩せしむるの計畫であつて國際法律の出來たる以上は必ず國際裁判所の設定は當然の次第で所謂學問中心の大體は以上の如き者である(東京電局)

謠曲唄ひ方の基礎觀念に就て(上)

烏飛兎走生

一

謠曲は今五流に分れて居る。然しいづれも元觀世流に源を發して居ることは云ふまでもない。從つて根本に於て五流に共通な或るものがある事は是れ亦云ふまでもない。然らば何が五流の由つて分るる所である歟。謠曲の文句の相違はごうにでも一致せしめ得べきである。從つて是れは問題にならぬ。曰く聲調の相違、曰く節付の相違、大體に於てこの二者が五流の相違の要點であるこ我輩は思ふ——茲にはうたひ方を云ふのである。立ち方に付いては暫らく別個の問題として切放して見度い——其他立方の相違から來る當然のうたひ方の相違もあらう。然し是れは假りに別として總ふれば聲調こ節付との相違が大體に於て五流の相違を來したものと見て大差ないこ思ふ。——我輩は茲に沿革的に五流の由來を證識立てする程の暇を有せぬ。そして又五流の由來がごうであらうとも、我輩の論旨には何等の影響もない——聲調は必ずしも根本の問題でない。節付は決して不變のものではない。故に我輩の所見に於て五流は聲調と節付との多少の斟酌と讓り合ひとに依つて統一し得べき性質のものであると思ふ。

二

五流に亘つて廣汎に論ずる事は我輩の力或は及ばざらむことを恐るゝけれども多くの流派に於て今の數ふる者と數へらるゝ者との間に物足らぬ或るもの・存する事を我輩は平生遺憾に思うて居る。少しく此の點に就いて管見を叙して見度い。

三

謠は唄ふものである歟。語るものである歟。淨瑠璃義太夫は語るものであつて、唄ふものでない。長唄や常磐津や清元や、歌澤や宮本や一中や、河東や、新内やその他種々な俗曲は唄ふものであつて、語るものでない。多少の異論はあり得るにしても謠は此意味に於て語るものであつて、唄ふものでない。我輩の意見はこの點から發足せねばならぬ。——俗に見臺を置いて唄ふものは語るものである。例へば長唄は唄ふもので常磐津は語るものであると謂ひ傳へられて居る。然し我輩は今この見解に從はぬ。要するに節を唄ふものが唄で、文句を語るものは唄でないと思ふ。然しこの點に付いてはもつと研究して見たいと思ふ。いづれにしても謠曲は唄でない。

四

語るものは語るといふ心持が基礎であらねばならぬ事は云ふまでもない。謠曲が語るものである以上、節付と調子との以外に、『何ものか』を要する所以は茲に存すること思ふ。然らば其所謂『何ものか』なるものは何であらう。

五

我輩をして云はしむれば、其第一義は謠はむと欲する一句々々を眞實ならしむると云ふ事であると思ふ。一曲を眞實に語り了するといふ事であると思ふ。勿論聽く者をして飽かしめぬと云ふ事の爲に、又情趣の必要なるが爲に、節もなければならぬ。黑拍子も伴なはねばならぬ。序破急も必要になつて來る。觀世流に就て云へばナビキも生れて來るのである。然し謠曲に於ては何事よりも先に眞實を語るといふ事が第一義であらねばならぬ。然らば語るといふ事に付いての肝要な事共は何々であらう。この點に付いて我輩は一般に閑却されて居るかの如き傾向のあることを遺憾に思ふ。」

本吉スレート工業株式會社 株式募集

日本建築改良の急務と!

本會社は本邦唯一 **建築材料の新提供** **其材料は無限利用** **需要の大無限** **利益計算の安定を**

岩手縣氣仙郡所在のスレート採掘權を有し現に一箇月四万枚以上の注文に應じつゝある本吉スレート商會の事業及び石盤輸出商として第一流の稱ある日本橋區濱町中西商店の營業權一切を買收擴張し加ふるに目下の良質と尨大豐富の產額を以て有名なる宮城縣本吉郡並に物として斯界の一大問題たる堤式蒸汽砂煉瓦人造石の製造販賣權を基とし其特長たる(一)龜裂凍霜害の絶對無(二)耐火度は華二千度の高熱に堪ゆ(三)膨張力耐壓力はセメント類に優る(四)形體整一メジの使用普通煉瓦の約三分の一にて足る(五)僅十時間出來の爲め資金固定せず殊に即ち右スレート磨上げの鹽砂を充消するの特別利益を有する發明品なるが故に其價格は絶對低廉にして殆んど獨歩の地位を有し敢て類質建築材料の競爭を許さず以て前項スレートと相俟ち當に來るべき市街地建築法實施に際しては當に京濱附近のみに向ても莫大供給を要するのみならずを遠近各地の土木建築界に勝起すべきを期して待つべきのみ若夫れ本社スレートに至りては屋根其の他家具文房具の製作あり前者は實に西比利亞滿洲後者は夙に濠洲印度支那より遠く南阿南米に輸出せられ需給共に遼遠後顧の憂更になく安全有利寶ごに邦家の一大公益事業とす。豫算書には得んが爲め假りに平均二割の配當に計上したるも設備完成の上は優に五割以上の配當を得べきは起業者によりて知らるべし大方の各位本業の多望なるを確信せられ奮て應募協力せられん事を切望す

發起人總代 大俊五郎

募集要項

一、資本金總額 金貳百萬圓(株式四萬株)
一、募集株數 六千株
一、壹株の金額 金五十圓
一、申込期限 大正八年六月十日より十九日迄
一、申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
一、第一回拂込金 壹株に付金拾貳圓五拾錢(證據金を算し)
一、募入決定方法 應募超過の場合は發起人に於て適宜決定す
△定款目論見書及申込用紙は左記取扱所及創立事務所に備置候
△朝鮮滿洲樺太等の申込〆切は七日間延長す

賛助 侯爵 大隈重信

發起人並賛成人(◇印は發起人 順序不同)

[illegible]

株式申込及拂込取扱所

[illegible]

スレート工業の一大革新!!

東京市芝區新幸町七番地 本吉スレート工業株式會社創立事務所 電話新橋三三五三番 振替東京四六七六五番

◇集金人募集
希望者は來談あれ市內に確實なる保證人を要す
京城黃金町二丁目
明治生命保險株式會社京城出張所

▶圖內土地に出發製造監督日々送遞致居候◀

○最特選純粹魯桑種 一合 六十五錢 一升 五圓八十錢
○上等魯桑種子 一合 五十錢 一升 四圓八十五錢

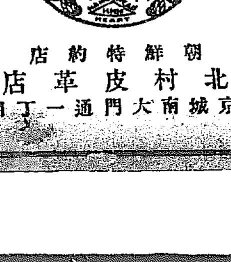
○普通桑最特選種子 一合 五十錢 一升 四圓三十錢
○普通桑上等種子 一合 四十錢 一升 三圓二十錢

京畿道水原 朝鮮興農園 電話長二七 振替京城七三

Iレール自動車
軌條、機關車、機械類、自動車
十二磅 十六磅 二十磅 乘用 貨物用
京城永樂町二丁目(電話長四七番)
輸出入商 榮洋行

悲痛三年
鈴木春治氏著
悲痛三年!妻を喪ひ二人の愛兒を亡くし、苦悶悲痛實に三年、踏然其の職に悟境を見出したる一小學教師の自白、詩々句々皆これ心血を絞りて市隣の境遇より出でたるの言、人をして座ろに同情の涙を催さしむ、東西の境遇を一にし職を同うするの士よ!あはれ教師諸君に一讀の栄をたまへ
▼菊半截二百頁餘 稅四錢 ▼六拾錢
▼三浦修吾氏序及歌 ▼後藤牧香 多田鼎 ▼公波仁一郎 小波 ▼福永友吉 小西重直 蹴谷
發兌元 東京市麴町區隼町廿番地 振替口座東京二〇九一四 洛陽堂(電話九段九六六番)

夏の肌著
クレープ(立縮)
紳士用 シャツ 七拾八錢以上 ズボン下 七拾八錢以上 同 半袖 五圓三拾錢以上
婦人用 シュバン 壹圓以上 肌著 貳圓以上 腰卷 八拾錢以上
小供服 アミシャツ 嬰メリヤス 各種取揃申候
京城本町 塚谷洋品店 京城出張店
クレープシャツ 特價 金壹圓

靴の永壽を欲せば
須く3H水防靴クリームを常用せられよ!!

發賣元 東京市本所區 藤屋商店
朝鮮特約店 京城南大門通一丁目 北村皮革店

白熱的歡迎最新刊

奧野他見男先生著
赤い顔して女優を待てば
◈さア出たぞ、愈々出たぞ、天下一品の新著が出たぞ。
◈或は歌劇の女優に持て〳〵『萬更ら惡くもなし』と鼻を撫で、
◈或は某成金と新橋に豪遊して俄か御前を氣取る所、
◈著者自ら『大學出の兵隊さん』以來の傑作なりと云ふ。
◆竹久夢二畫伯の裝幀 ◆菊半截美本定價七拾錢送料六錢

大町桂月先生著 十三版
三國一の花嫁樣は
◆袖珍形總クロース製金文字入函入美裝 ◆定價金壹圓參拾錢 ▲郵送料金六錢

發行所 東京日本橋 新和泉町四 電話浪花一三六番 振替東京一三九六番 白羊社

新刊 縮刷
此處に道あり
—人生の行路奈きか?—
桂月先生曰く「人は歩むに道を要するが如く活くるにも又道なかるべからず金に任かせ遊なき山に入りて一時は無事に通過するとも必ず終には行詰るべし殊に年若き人は空想に驅られ又は外來の思想にそゝられて道なき山に迷ひ込み遂ひには困難窮死するものも少なからず。これ學究するに迫るべき道あるを知らざるが爲めなり」と先生の新著『此處に道あり』は仁、義、禮、智、信の五部門五十編よりなり人生の行路を指示するに貴いて間然する所なし
發賣 東京神田 誠文堂

營業品目錄
罐詰、乾物、雜穀、海產物、清酒、醬油、漬物各種、漆器、金物類、家具、荒物、花蓙、雨傘、針金、細工物、土器、用具、瓦、綿線、香、紙類、服物、文具、煙草、鳥類、鮮魚、紙類、陶磁器、洋灌、土管、石油、セメント、コールター、其他日鮮人向日用品一切
○蠶繭買入
龍山 津田兄弟屋本店 仁川新町 長電話七六二番 振替京城三八九番
津田兄弟屋支店 京城明治町二丁目 電話本局六七〇番 振替京城三一八一番
津田兄弟屋出張店 黃海道載寧 津秀倍山

江戶の花出納式
創業明治廿貳年
新たな開業の御方又自轉車御營業の方へ(定價表呈)
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車卸商 杉野商店
東京神田末廣町 電話下谷八三一番 振替東京四八七七番 電信略號(神田)スギ
C.A. "DAIMILLON" TOKYO

◇要償金額不記入

巴里來電に曰く專門委員會は對獨講和條約中に要償に關する特定金額を記入せざることを協定せりと報ぜり併し佛蘭西及び白耳義は條約調印後三ケ月中に其の要償額を獨逸に提出すべし(倫敦電報)

◇フ港は投票解決

アドリアチック海問題は事實上決定しフユーメを自由港とするは既報の如くなるが其周圍の地は國際聯盟保護の下に自由國と爲す可しユーゴー、スラブはセベニコを管理し尙ほ伊國管理の下にザラを自由市と爲す可くフユーメの運命は五箇年內に一般投票を以て自由港に於る住民は伊太利國民たるか將たユーゴー、スラブに屬するか二者其の一に決せらる可し(巴里電報)

◇我裁判官派遣か
特別軍事裁判所の設置期

對獨講和條約文に聯合國は獨逸前皇帝の戰爭責任を糺彈する爲に五大國より一名宛判事を選出して特別裁判所を又戰爭法規違反の行爲を爲したる獨逸人を裁判する爲に軍事裁判所を設置すことあり前獨帝に對する問罪は我國の主張容れらるれば中止となるべきも軍事裁判所は其開設を見るべければ我全權委員並に隨員中には判事を有し居らざるが故に條約調印と同時に判事急派の必要を生ずべく司法當局にては右適任者を人選中なりと(東京電報)

◇調印拒否と內閣更迭
エベルト、シヤイデマン不調印

伯林よりの報道に據れば大統領エベルト並に首相シヤイデマンは調印を欲せず愈伯林政府にして調印を拒否せば結局內閣更迭は免る可らざるがエルツベルゲルは調印派にしてリヒトホーフエル男と共に新內閣組織の野心ありと(巴里電報)

◇獨國民議會召集

獨逸國民議會は十二月ワイマールに召集さるべし(巴里電報)

◇巴里罷業益險惡

巴里の罷業は益々險惡となり罷業者の數は既に三十五萬人に達し地下鐵道は全部閉鎖され乘合自動車も休業せり而して彼等は賃銀を輕減せず八時間勞働の即刻實施を要求し電車其他の從業員も亦罷業せんとしつゝあり(巴里電報)

◇ジヨンソンを推薦

進步黨は次期大統領にカリフオルニヤ選出元老院議員ヒラム、ジヨンソン氏を推薦する旨發表せり(華盛頓電報)

◇米國金輸出解禁

米國政府は九日金及び金貨に對する輸出禁止を解きたり(華盛頓電報)

◇徐總統辭職理由
對外對內問題に就て

徐總統の國會及び各省に打電せる理由は對外問題に對しては山東問題を保留し講和條約に調印せんことを主張せるも外交上保留不可能に屬し而も調印せざれば國際上支那の不利益少からざるを以つて調印は避く可からざるも不幸にして國民は外交に暗く群起して反對するより責を引くにありと尙ほ又對內問題に就ては和平會議の決裂を指摘し居れり(北京電報)

◇徐總統留任勸告

北京外交團は十一日緊急會議を開き徐總統に對し留任勸告を爲す可く決議せり(北京電報)

◇學生團の要求
陸宗輿氏の嚴罰にあり

上海は學生團の要求に依り目下市中は同盟罷業中なるが學生團の主なる要求は陸宗輿氏の嚴罰にあり支那側軍隊は萬一を慮かり北京より援軍を得て警戒し居れり(上海電報)

◇商人妄動を嫌厭
學生等再度罷業を強制す

天津商務總會の措置に反對して青年會館に糾合せる學生等は商人の罷業を解きて開業せるを憤慨し代表十名を擧げて再び商務總會に入り交渉することを決議し代表者等は直ちに同會に於て正副會長に向ひ再度罷業強制を嚴談したるが會長等は之に對し商家罷業は容易ならざる旨を說くや代表者の一人罵駿は矢庭に有り合せの茶碗を取りて自己の頭部を割り尙ナイフを以て腹部を刺さんとしたるも傍人の爲め支へられて果さず鮮血淋漓凄じき光景に商務總會委員等は戰慄し午後四時更めて之れが會議を開き同時に一先づ其場は何事もなく濟みたり商人等は學生が血氣に逸りて前後の思慮もなく妄動するに對し眉を顰め居れり(天津電報)

◇上海同盟下火

同盟休業せし上海の支那商店は門戶に貼りたる檄文を剝ぎ取り漸次開店しつゝあり(上海電報)

◇長春學生團不穩
暑中休暇を繰り上ぐ

在長春支那師範學堂及び中學校の生徒等は過般妄動以來當局官憲の注意其他に依り一時鎭穩に歸したるもの、如くなりしが數日前師範學堂生徒等再び不穩の行動に出で辛うじて監督者の取締に依り鎭定せるも裏面の形勢穩かならざるものあると今回の上海暴動に就き同地學生等と氣脈を通ぜる傾向あるより學校當事者は每年七月より與ふべき暑中休暇を繰上げ中學校は十二日より師範學堂は十三日より休校したるが之が爲放れたる彼等は却つて種々の惡策を弄するやも測られず這は唯取締の任にある學校當事者が其責任より免れんが爲の手段に外ならずと觀測され居れり尙上海の暴動に依り同地商店閉鎖の結果長春城內商人に影響を及ぼし經濟界少からず動搖の兆あり(長春特電)

◇驅逐艦上海急航

驅逐艦白雪、松風、野分の三艦は十二日佐世保發上海に急航せり(東京特電)

◇張巡閱使孟督軍壓迫策
巡閱使分署を長春に設置

張東三省巡閱使は吉林孟督軍壓迫の一策として長春に巡閱使分署を設置する事に決定し十二日午前七時分署開設の爲め奉天より巡閱使署顧問中將英順氏及び副官等來長し更に警備の爲め二十七師の兵士多數來長すべし而して張氏は孟督軍の後任に孫、吳兩師長を推薦し數千の兵士を懷德縣に進め右兵士等は一令の下に吉林に入る可く準備成れりとの說あり之に對する孟督軍は張氏の壓迫と各方面の彈劾とに依り共運命益々窮し種々の對抗策を講じつゝあるが今日の場合孟督軍としては先年一度執りたる獨立の名を以て中央を威嚇するの外途無く過般解散したる兵士を再び召集して軍備の充實を圖り高師長、陶旅長等の結束を固め一方態度曖昧なる長春裴鎭守使の行動を監視し居れるが吉林獨立の如きは到底行はるべきに非ず再び有耶無耶の中に何等かの妥協成るならんと噂され居れり(長春特電)

◇總督府任用令

十三日の閣議にて朝鮮總督府地方廳職員特別任用令中改正の件其他決定されたり(東京特電)

◇條約局官制

外務省に新設の條約局は近く御裁可を仰ぎ官制と共に發表さる可し(東京特電)

◇滿鐵理事
異動乎

改野滿鐵理事の辭表に次いで川上、山崎兩理事も亦辭表を提出せるものの如く結局辭表聽許さる可し他の龍居、川村、久保三理事は無論居据りにて後任理事に就ては前鐵道院技監島安次郞、前滿鐵用度課長秋山雅之氏等の呼聲あり(東京特電)

◎滿鐵社債發行

滿鐵社債二千萬圓は興業銀行の手にて發行することに決したるが其條件左の如しと(東京特電)

期限十五箇年▲年利率六分▲發行價格九十三圓五十錢

◇新獸醫學博士

獸醫學博士會は十二日左記の六氏を獸醫學博士に推薦せり(東京特電)

▲新山宗助▲丹下謙吉▲深谷慶一▲興倉登龍▲岸本雄二▲厚木兵治

◇林長官動靜

林關東廳長官松村旅順要港部司令官一行を乘せ鴨綠江を遡り安東鐵橋下に碇泊中なりし第十一驅逐艦隊初雪の二隻は十四日午前八時半拔錨旅順に向け出航せるが林長官は十三日午後九時二十分發列車にて歸任中なる杉山總長と共に五龍背に向ひたり(安東特電)

◎航路請願
商議聯合會より

臨時全鮮商業會議所聯合大會に於て決議せし朝鮮西海岸開港地對神戶大阪間大連芝罘及び青島間同橫濱間同上海間及び釜山神戶並に大阪航路開始の件に付き十二日釘本同會長より長谷川總督に宛て請願する所ありたり其の請願理由を聞くに

▲朝鮮西南岸 開港地對神戶大阪間の海上輸送に付ては時局以來當業者が如何に困苦を嘗めしかは既に當局に於て充分之を認識せられ深く同情せられたる所なるを信ず近時內鮮の貿易は非常なる高速度を以て增進し加ふるに朝鮮に於ける農事の發達は年々生產の增收を來し內地への輸送愈々增すに拘らず之が輸送に應ずる船腹常に乏しく一面鐵道の輸送力も微弱にして船腹の充實は焦眉の急にして一日も營利會社の自由航路に委す可らず況んや累年朝鮮產業の發達顯著なるに於てをや依て定期命令航路の航行を實施せられんことを切望して止まず

▲關門兩地を 經由する北九州及び中國筋と朝鮮との貿易關係は近時愈々密接を加へ殊に朝鮮米の販路は此方面を以て今後益々有望とすべき理由あり然るに現今に於ける運賃は朝鮮西南岸諸港神戶大阪間と同率なるに拘らず輸送意の如くならず頗る不便の狀態にあり且此の方面の販路を盛んに開拓するは大阪市場の朝鮮米相場を牽制するに最も有利なるが故に本航路の設備を熱望する次第なり本航路は現今朝鮮郵船株式會社の大連仁川芝罘間並に阿波共同汽船會社の大連芝罘青島間の航路あるのみ而も船腹狹隘にして何れも每月二三回を往復するに過ぎず且つ仁川を除きたる朝鮮西南岸の各港は全く之を利用すること能はざる狀態なり是等各港は唯僅に長崎縣の命令航路

▲長崎大連線 就航船に依りて大連との連絡を保つに止まりしが是すら大正七年三月限航ことなりしつゝありたる從來の取引關係を斷絕せざるを得ざる不幸に陷れり今や滿鮮經濟統一の提唱さるゝ時に當り黃海方面との輸送設備を現狀の儘に放任するは一日も許さざる所なれば至急適當の施設あらんことを望む若し經費の必要ありとせば二、三を合併し關門を南の終點とし釜山木浦群山仁川鎭南浦龍巖浦大連芝罘とするも可ならんと信ず

▲朝鮮對橫濱 方面との貿易は阪神貿易の如く盛んならずと雖も近時關東方面との貿易漸次增進の勢力あり然るに定期航路の存せざるが故に當業者は互に相當の程度を脫せずして過般永陸丸積荷の如く處分に窮したるが如く又內地に於ける米價調節の一策として近く某船を回航せしめらるゝと云ふが如き全く平素の交通聯絡を缺くが爲めなり依つて關東方面との貿易を密接ならしむる根本航路の急設を望む

▲朝鮮產業 の開發を計るは對外貿易の振興を以て急務なりとす由來支那中南部との貿易は相當の價格に達せるに拘らず航路なきが爲に南支那より北支那を經由して輸入し或は內地を經て輸出するが如き頗る迂遠なる徑路をとれるが爲めに其發達遲々として振はざる感あり近時朝鮮の事業界著しく進展し中南支那との間に非常に密接ならんとす對支貿易上本航路の開始を望む

▲鮮鐵の滯貨 問題は朝鮮貿易に影響する處多大なることにして而も之が原因は內地山陽線輸送力の缺陷に關する所甚だ大なり全線輸送力の改善は容易の事に非ざるを以て之が缺陷を救濟し滿鮮貨物の輸送を圓滑ならしむるは阪神航路の充實に俟たざる可らずと認むるを以て南滿洲鐵道株式會社をして之が適當の施設を講ぜしめられんことを望むなりと

◇西伯利時間經濟
十三日零時より一時間繰上ぐ

從來北滿西伯利に於ける露國時間は哈爾賓を標準として同地方に於ける日本時間より二十三分進み居たるが今回オムスク政府は時間經濟の爲十三日零時を期し向一時間を進ましたりしが之が爲め東淸鐵道列車は十三日より一時間早く發着する事となりし爲め長春驛發時間は午前七時三十七分、午後零時十七分同十時十七分にして同著時間は午前五時十七分、午後三時五十二分、同九時二十二分となりしが此時間變更に由り滿洲に於る日本時間とは一時間二十三分の差となり朝鮮及び內地とは二十三分の差となりたり(長春特電)

◎朝鮮開墾
會社新設計畫

當地一流の實業家たる馬越恭平、山本條太郎、茂木總兵衞、中村房次郎、原富太郎、和田豐治氏等その他の發起にて食料增產を主要目的とし朝鮮の未墾地並に干潟地を開拓せんとする朝鮮開墾會社の計畫あり前代議士にして發起人の一人たる守屋此助氏は目下來城總督府に長谷川總督、山縣政務總監その他を訪問會社の計畫希望等に就き縷陳する所ありしが聞く處によれば該會社の資本金は一千萬圓とするか五百萬圓とするか未だ決定せず又如何なる方面を先とし如何なる順序によりて之を行ふかも確定せざれども要するに內地の資本を以て朝鮮開墾を行はんとするものにして事務所は永樂町朝鮮紡織會社出張所內に置き青木作太郎氏技術家その他を招聘し主として今後開墾豫定地の實查事業の調查に着手し成案を得て會社新設の順序となるべく目下の所その實現期は年末若くは明春か遲るゝ事なかるべきかと

◎穀物貿易商大會
京城會議所提案

來る二十日二十一日兩日釜山に於て開かるべき第三回朝鮮穀物貿易商組合聯合大會に京城穀物商組合より提出議案は左の如し

(一)籾質は各道を通じ正味斤建に一定し之が實行に關し其筋の援助を仰ぐ件
(二)籾包裝を叺に改良し之が實行獎勵を其筋に請願する件
(三)鐵道輸送寄託品に對する損害及保管改良に關し當局者へ申請の件
(四)朝鮮鐵道に依る穀物輸送改善に關する件
(五)農產物輸送機關の施設に對する保護獎勵に關する件
(六)朝鮮農產物生產額增加策として耕地開墾者に對する補助金下附及一般農家に金肥施用の獎勵を行はれん事を建議する件

京城よりは三井物產、共益社の各代表者及執行、中島、齋藤、三浦、水野の諸氏出席し大阪關門博多尾道の同業者も參加すべしと

◎貧兒救濟事業
實行委員會

曩に社會公共の爲め救世軍司令部に於て畫策せる貧兒救濟事業は京城有力者の多大なる同情盡力と司令官ジョージフレンチ氏の熱心なる奔走とにより其後着々步を進め十四日午後二時西大門外同軍士官學校內に同事業實行委員會を催し委員一同出席の上其實行方法及び事業の將來其他に就き種々懇談協議を遂げたるが委員は入澤、重藤、尹致昊、朴承、渡邊暢、金谷充、楠原琢郞、矢島松造、牧山耕藏、深澤新一郞、小林源六、須藤音作、石鎭衡の十二氏にて目下收容せる貧兒は既に三十一名の多數に達し居れりと

◎省峴隧道起工

京釜線改良工事中の最難關たる慶山清道間の大隧道省峴隧道は既に請負の調査を了へ近く二區に分ちて契約を行ふこととなれりと該隧道は內部に硬岩の見込にして延長一哩二十鎖に達するのみならず該隧道內に屈曲を爲すものにして其延長の內部の作業困難なることは鮮內隧道中の第一位にして四箇年繼續の大事業なりと

◎桑田武官來期

第十九師團幹部演習視察中なる桑田侍從武官は豫定の通廿日頃入城すべし

◎三代議士入城

政友會所屬代議士原田十衞、小泉策太郎、山口恒太郎の三氏は朝鮮視察の爲め十四日午後七時五十分南大門着列車にて入城、牧山代議士、田中李王職事務官、松崎朝郵專務、林總督府事務官等の出迎ひを受け大和樓に投宿せり一行は三四日間滯城の由

人事消息

▲松倉尙次郎氏(平北警務部長)十四日入城旧本旅館へ
▲鈴木武臣氏(咸北警務部長)同上
▲大橋又三郎氏(咸南警務部長)同上
▲小河正丞氏(平南警務部長)同上
▲林茂樹氏(黃海道警務部長)同上
▲笠井次郎氏(全北警務部長)同上天眞樓へ
▲松村良太郎氏(新義州材木會社取締役)同上不知火へ

烏瞰錄

▲入城した[illegible]將が過日北京へ行つた時段祺瑞等の連中から非常な歡迎を受けた▲其の時恰度北京に新聞記者の觀察に行つて居た東京やまと新聞の編輯長の半澤玉城君も陪賓として列席して居た▲盛宴が終つて大將は一同に挨拶して退席する際に色々處に居た玉城君と握手して御歡待に預りましてと町嚀に謝辭を述べてサッサと出て行つた▲判らぬのは玉城君自分は陪賓で御座るが主賓が陪賓に御歡待なんか挨拶するのは此奴はお可笑いワイと首を捻つた▲成程讀めた大將は自分を支那人と間違へて居るのだらうよし〳〵東京へ歸つたら今度は支那人になつて北京で御馳走した代りにウンと奢らせてやらうと計畫して居ると北京からの通信があつた▲大將もイヤ左樣だつたか位で濟ます譯には行くまい玉城君の歸らぬ前にソツトお知らせして置く▲米國人のやることは却々奇拔でアツと云はせることが少くない之れも其の一つであつて▲日本だつたら一寸問題で新聞などは一號活字に書き立てる處だが其處は米國丈けに餘り珍らしいとも思つて居らぬ事がある▲其れは去月五日米國ブルクリン市で米國の勝利公債募集も後五日間と云ふ日のこと▲ブルクリン劇場に現はれたメトロポリタン歌劇團の花形エレノ、デ、キスネロン伯爵夫人は米國の爲に誠意を示すべく百萬弗以上の公債應募者には一度丈け接吻を差し上げますとギッシリ詰め込んだ觀客に挑戰した▲すると居合せた銀行家實業家は先を爭うて飛び出し夫人の與へた四十一回の接吻で遂に四千百萬弗を應募させたとは驚く▲女ならでは夜の明けぬ國のお株は近來米國に鞍換したらしい。

◎玄界灘荒る
連絡船の延着
[illegible]

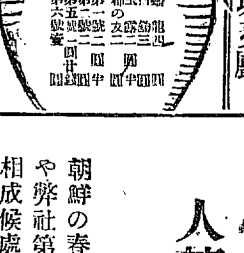
東京株式 十三日後場 新東 二九九、九〇

十三日後場 三五、二九 三五、三二 三五、二四 三五、三二

下關期米特電 十四日前場(總體保合)
七月期米 高値 三七、六八 安値 三七、二〇 引値 三七、三〇 三六、一六 三五、六五 三五、九五

多分上伸びしも高値は月先前の利喰出現援に日曜明を控えして好く煎物多く仲び悩み十七錢下押せし退き六十七錢と益々强硬を示し目も押目は前物高みで下造り利喰ひ先利喰も利かず鮮人筋買進みしが大阪前報の延着にて氣迷ひせし[illegible]角日曜明の相場興味ある相場を想現するに有すやと觀測せられたり
十四日 寄付 三十七圓五十錢 高値 三十七圓六十六錢 [illegible]

商業登記公告
株式會社朝鮮殖產銀行第壹回社債登記、社債ノ總額金貳百萬圓各社債ノ金額金五拾圓社債ノ利率年五分五厘社債償還ノ方法及期限元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置後拾五年間ニ年貳回(參月九月)毎回金五萬圓以上ヲ償還シ大正貳拾八年九月迄ニ全額ノ償還ヲ爲ス利息ハ參月九月各壹日ニ當日迄ノ六月分ヲ支拂フ但シ發行初回ノ分ハ發行ノ翌日ヨリ日割計算トス各社債ニ付拂込ミタル金額全額
右大正八年六月六日登記
京城地方法院開城支廳

宇治 自園


定價表御申込次第早速進呈致候但特約販賣店御希望の方には特に御相談仕候間御一報被下度候
京都市御池通柳馬場小路西入
美濃部降福堂 地方係
電話下一八八二番 振替大阪五一六七番

京日案內
▲申込は成る可く前金の事中途廢止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信料無きものにあらざれば回答せず
普通一行一回前金二十錢(號外壹圓二拾錢增)

雜用婦入用 京城本町一丁目支那領事館前 飯塚齒科醫院

男女 藥局生及見習生入用志望者は至急申込まるべし 仁川 佐藤病院

採用す 土木建築事務員 技術數名 希望者は自筆の履歷書携帶六月十六日午前九時出頭あれ 龍山 朝鮮軍經理部

內地人集配人募集 但し初任月收卅五六圓 光化門郵便局

◎不動產 管理、賣買、金融其他一般信託業 京城黃金町若草町通電話九八九番 犬島商會 信託部 不動產部

古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話二三三八番 楠商店

西比利亞向商品 買受又は委託迅速確實に取扱申候 新龍山三角地 電話六四三番 伊勢商會

恩給立替 金は證書引換に御渡し致します 地方は規定書送呈す 京城府若草町郵便ポスト前入 電話三〇壹壹 西村商會

ゴム玩具大賣出 △定價表御入用の方へは無料郵送 京城太平通二 電話二六〇六 ゴム 太陽商會

◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

店員 至急弐名入用 年齡廿歲以上三十四五 本人來談あれ但保證人を要す 京城本町三丁目 電話二八三壹 大石衣服店

白色ウズラ鳴鶉 親鶉雛卵及鶉の飼料破格廉賣 門司市本川町四丁目 硯海園 養鶉所

◎店員募集 希望者午後來店 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店

編輯調査の事務に經驗ある人士を招聘す △志望者は自筆の履歷書おくれ △面會の日時は改めて通知すれば 京城明治町一丁目 東亞經濟會

朝鮮で今一番よく世界に賣れる
人蔘靈藥の記念特賣

朝鮮の春も北へ北へと暮れ行きて早や弊社第四年の盛夏を迎えるの候と相成候處愛用者各位の厚き御賞贊の賜に依り社運日に月に隆昌に相向ひ弊社の本懷之に過きす候依て聊か之に酬ゆる記念の爲め今回景品券附特別提供致すことと致候に付何卒誘ひ合せ御用命仰付被下度謹告仕候

▲定價

▲人蔘精腦
十五入 金一圓二十錢
二十五入 金一圓三十錢
三十五入 金三圓五十錢
六十五入 金六圓
九十五入 金八圓

▲人蔘質母散
試用分 金十五錢
二日分 金四十錢
五日分 金壹圓
十日分 金一圓九十錢
廿日分 金三圓六十錢
德用
壹月分 金五圓
貳月分 金九圓五十錢
百日分 金十五圓

▲朝鮮人蔘
特等根 金二十一圓
壹等根 金二十圓
貳等根 金十八圓
三等根 金十五圓
四等根 金十二圓
五等根 金八圓
六等根 金七圓

▲カシヤ純人蔘水飴
大罐 金貳圓
中罐 金壹圓
小罐 金五十錢

▲特價規定
一 六月十一日より來る七月三十一日迄五十一日間卸賣金高定價五圓每に景品抽籤券一枚宛差上申候
二 此の期間一口御註文金高三十圓以上一割引五十圓以上一割五分引二百圓以上二割引五百圓以上二割五分引を以て提供仕候
三 來る八月十日官憲の御立會を請ひ抽籤を行ひ當籤者には左の景品を贈呈仕候
▲壹等 壹人 ダイヤ三ツ入婦人指輪 壹個(百圓)
▲貳等 貳人 鎖付金側懷中時計 各壹個(七十五圓)
▲參等 五人 ダイヤ一入婦人指輪 各壹個(四十圓)
▲四等 拾人 純金彫刻婦人指輪 各壹個(十五圓)
▲五等 五十人 純人蔘精腦卅五入 各貳個(七圓)
▲六等 五百人 人蔘質母散五日分 各壹個(壹圓)
▲七等 三四三一人 人蔘質母散試用分各壹袋(十五錢)
四 四等以上の景品は特に東京三越吳服店に註文し調製の上贈呈可仕候

京城長谷川町五十八番地
朝鮮製藥合資會社
振替京城三八一〇番 電話一三〇九番

京城日報 京城 大阪 京 普通料金 四十錢 割引料金 廿五錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之[illegible]

……十一時發列車は十二時三分發車することゝなりたり(釜山)

大阪期米特電(延着)

龍山兵營物語(3)

女矣島の教練 は實戰より苦しくあります

燒け付くやうな白日の下で　ヘト／＼になつて前進突撃　何を食ても其演習の後

『あゝ厭アだ可厭だ、明日の中隊教練は女矣島だよ堪らないな』とうんざりした顏を廊下から班の食卓の前に出すと一人が引き取つて『何だツて？女矣島だ？オヤオヤ助からんな』と是も急に悄氣て眼計り光らせた、昨今兵隊さんが

最も可厭がる のは女矣島で演練する中隊教練である、女矣島は漢江の左岸鐵道橋より下流一帶約二十餘萬坪の曠漠たる砂ツ原だ、白日かツとまばゆく輝く時女矣島の白砂は火よりも暑く燒ける。歩くに靴が沒して容易に進まれず、一尺進んで五寸後へ引き下る事程左様に攻撃前進には苦痛である、如何な元氣な兵隊さんと雖も女矣島の聲を聞くと急にがつかりして嫌な顏をする『誰だ？其麼元氣の無い事を云ふのは！』と

下士の一人が 班全體の兵を見廻しながら『其麼事ではいけない、曾て乃木閣下は大演習の折　陛下の御前で演習は實戰の如く實戰は演習の如く心得て居ますと仰せられた事がある、お前等も演習を實戰の如く心得なければいかァん！』とぐツと反り身になつて云ふと古兵の一人はにや／＼笑つて『班長殿はさう云はれますが心の中では餘り喜ばれないでせう』

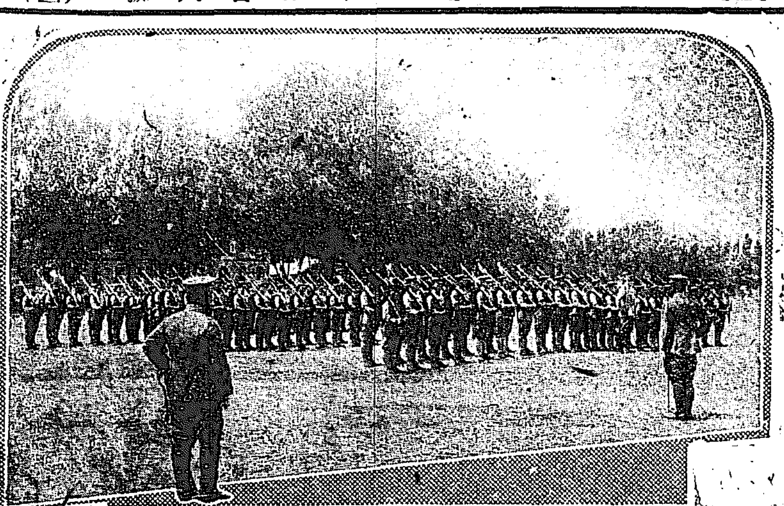
全く實戰より 女矣島の方が困くありますよ』と云ふと『お前實戰を知つてるか』と後は大笑ひになる和氣靄々たるものだ午前八時營門出發、人道橋を渡つて水源地の前を通り堤防に出て砂ツ原に出ようとする頃からもう戰鬪準備で燒砂の中へ足を突込む頃には西北の高地に假設の敵が現はれる『敵は前面の高地！』と號令が暑ッ苦しい空氣の中に響くともう

蜘蛛の子をば 散らしたやうに散開して攻撃前進する、戰友に遅れまいと思つて駈ら走つても靴が砂中に沒して自由にならぬ、折敷する時の辛さ、足は燒けるやうなり手は火中に投ずるやうなり額からも頰からも

汗はだ と遠慮も會釋も無く流れる身體中汗でびツしよりだ、『もツと元氣を出て！』と叫ぶ中隊長も恨めしくなるが突撃に移つて演習中止となると高地の綠蔭で暫らく休憩！此の時の嬉しさは又譬やうもない、川風は習々としてポプラの裏葉を飜す、若し夫携帯の辨當を開く時に至つては其味

山海の珍味と 雖も到底およばない苦しい中に樂みのある物で中隊教練があると附近の牛乳屋で麥湯を沸かして置いて呉れるのが何よりの樂みだ、萬一他の中隊が先に來て麥湯を占領して仕舞ふと自分の咽喉を通らないので落膽する、演習中こそ氣が立つてゐるので元氣も好いが整列して不動の姿勢を取る時にはぐら／＼として倒れるものがある、斯うした演練にみッしり鍛へて新兵さんは來るべき機動演習に

一人前の兵と して始めて其技能を發揚するのである、女矣島から歸つた時には何れもヘト／＼になつてゐるが其の晩酒保の賑ひは又格別、『矢張り演習も良いものだ食てもうまい！』



營庭に整列して　女矣島へ中隊教練に

◎山田農商務省技師收監　秘密の漏洩か

農商務省技師山田憲氏は臨時外米管理部に勤め敏腕の聞えありしが去る九日突如休職となり一兩日前遂に收監されたりと事件の内容は目下横濱地方裁判所にて活動中の外米輸出入商鈴木辨藏商店外二三商店の刑事被告事件に關し不正事件ありたるもの、如く外米輸入に關する秘密を右商店に漏洩したるものなりとの説あり目下秘密裡に調査進捗中なり(東京特電)

◎井上博士葬儀　府葬にて執行

東京府にては十三日府會を開き前東京府知事井上友一氏の葬儀を府葬と爲し日比谷に於て行ふことに決し尚弔慰金三萬圓を遺族に贈るの件及び同葬儀委員其他を決定す可し(東京特電延着)

◎水不足　水道の出が悪い　水を節約せよ

天氣が續くと制限給水

二三日來市内の水道の出方が非常に細くなつたので共用栓の附近は手桶やバケツを提げた妻君連の會議場所となつてゐた水道當局は

▲**夏期水不足** になると止むを得ず給水を節約する爲に水の出方を細くし之でも不足すると制限給水をやるのが例で本年も其第一方法をやつてゐたのである消廳の水道當局は語る『京城水道が毎年水不足を告げて市民に迷惑をかけるのは誠に申し譯がありません本年は仁川水道から補給を受て居るので今日迄水不足を告げながらも制限給水をやらずに來ましたが

▲**現在の状況** と天氣工合で此上二三日續けば制限給水をやらぬ譯に行きません十一日夜の配水池水深が七尺五寸で十二日朝が十二尺六寸でしたから此二三日中に雨がないと水深が一二尺になつてしまふのです然し本年は使用者各位の『水道道徳』に依つて水の節約をされたのと仁川水道の補給と當局の腐心で今日迄斷水せずに來ましたので此際各位が一層の節約をして頂き當局も極力給水に努めれば

▲**斷水の憂目** を或る時期迄は延ばせるのです、猶雨期も近い事ですから雨期迄の辛棒ですバケツ一杯の水も市民一人宛が節約すれば驚くべき多量なものですから斷水された日の不自由さを思ひ較べて此際倍替の水の節約を御願したい』と云つて居た

◎首魁逮捕　闕席判決を受けし

去る三月初め江原道鐵原地方に於て部落民を煽動し妄動を敢てし其後蹤跡を晦まし京城に入り込み潜伏中保安法違反にて京城地方法院の闕席判決一年六箇月を受けたる鐵原郡西末面文惠里の改良書堂教師申聖奎(三)は其後引續き捜索中の處十三日市内雲泥洞に於て警務部用活高等係りの手に逮捕せられ即日檢事局へ引渡されたるが同人は今次鐵原地方騷擾の首魁にして殘て露、支兩語も能くし又國語も堪能の由

◎老人團非を覺る　遙々浦鹽から煽動に來た一團

浦鹽にて頑迷の徒を諭すべしと誓ふ　僞使の情報者なるを以て十四日夜放還

去月三十一日市内鍾路普信閣前に於て不逞鮮人李發(七〇)外四名が獨立萬歳を唱へ中一人は小刀を以て

▲**咽喉を突き** 鮮血に塗れ乍ら附近を馳廻りたることは當時報道せしが如し其後彼等一同は其筋の手に逮捕され嚴重なる取調べを受けつゝありしが李發及鄭某は全く他に煽動せられて妄動せるものにして太く前非を悔い居ることを認め其筋に於ては右兩人を十四日夜放還せり彼等今回の妄動內情を聞くに彼等一同は

▲**浦鹽に在住** し今回の騷擾勃發を機として獨立運動を試みんとして他の不逞の徒輩に使嗾煽動されて四十歳以上の者を以て老人團を組織し浦鹽在住の不逞鮮人を代表し虎の如き意氣込にて京城に乗込みたるも騷擾既に鎭靜に歸し居たること、て京城住民は誰一人として妄動を共にする者無きより止むなく前記五名にて

▲**普信閣の前** に到り萬歳を唱へたるが之亦誰一人として唱和する者なく直ちに其筋の手に逮捕されたるものなりと云ふ而して彼等浦鹽出發の際は京城は混亂の如き状態にあるべしと想像し居たるが事實は全く想像に反し秩序整然として何等不安の影さへ認め得ず少からず面喰ひ全く不逞の徒に煽動されて

▲**遙々と乘込** み來りしこの馬鹿々々しさを痛感すると同時に其筋の懇諭に依りて前非を悔い浦鹽に歸還後は總督府の善政を彼等頑迷の徒輩に知らしむべしと誓ひ感謝に堪へざるもの、如く十四日夜南大門驛發列車にて歸途に就けり。右放還の當日其筋にては兩名をして京城を充分見物せしめ旅費若干を與へたりと。

◎自分も贊成である　髮結競技大會の開催

本町署長　小牟田警視談

今回京城日報の後援で髮結競技大會を催さるゝことは頗る時宜に適した催しであつて自分としても至極贊成である。現在京城の

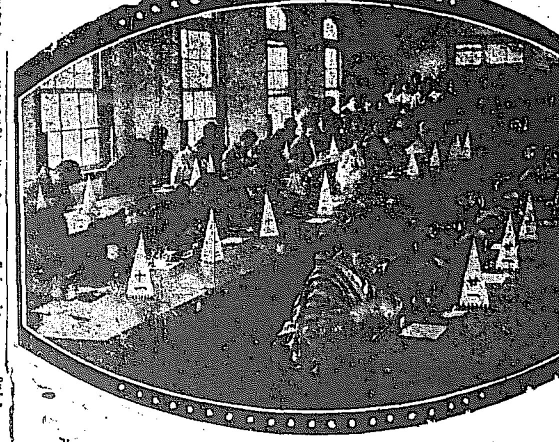
◇**女髮結業者** は百二十九名あつて之を内地人理髮業者四十名に比ぶれば三倍強の數に上つて居る。而してその仕事の上に於ては理髮業者と同じく多數の人に接觸するのであるから公衆衛生及個人衛生の上から見て充分の衛生設備を要し

◇**充分の取締** を要することは勿論である然るに女髮結業は理髮業者と違つて自分で店を張つて居る者は極少數で而も出仕事であるから取締上にも衛生設備の上にも兎角不統一を免れない、そこで昨年五月同業者の健康診斷を行ふと同時に

◇**組合を組織** したが其後は統一がとれて非常に成績が宜しい。而して今回その組合が主催となつて競技會を催すのは髮結の技術を磨くうへに勿論大相當の効果を齎すであらうが一面亦組合の結束統一を堅くする上にも

◇**好い思付き** である。唯自分として注文したいのは髮形を立派に早く結ふことが技術上の目的であるとしても公衆を相手とする上から見て衛生思想及び設備を完全にすることに於て始めて理想的であると思ふから此際特に組合員に向つて一言注文を附けて置きたいのである。

◇管理局の珠算進級試驗



◎珠算進級試驗　郵便貯金管理所で擧行　電光石火の早業

光化門通りの郵便貯金管理所では十五日午後一時から珠算進級試驗を擧行した例によつて持地遞信局長官岡本技師臨場受驗者は書記以下の男女吏員

百七十七人 である先づ第一は無級者の試驗で卅の机に並んだ男女吏員が三角形の番號標を前にしてズラリと顏を並べ算盤を前に置いてゐると係員は軈て『用意』と云ふ聲で受驗者一同が算盤を打つたやうな緊張さに合圖を待つてゐた『チーン』の鈴で六十の手が一齊に動き出す場内は寂として算盤の球の滑る音が耳を薊るやうなリズムを立てゝゐた

三回の計算 で段々試驗が進み五級四級と進んで行黑板に其度毎に合格者と進級者が發表される三級二級とすぐられた人達の早業は電光石火も啻ならぬ當日無級者が一躍特別二級に進んだ何正子は實に美事なものであつた聞けば昨年五月入所した相であるが十七八歳の少女としては好くあれだけの上達し得たものと驚かれた勇士悅造は元內地の遞信省で

珠算上手で 聞こえてゐた人であるが當日は手に疼痛があつて思ふやうに行かぬらしかつたが其でも一躍特別二級に進んだ特別一級に進んだ渡邊よし子は永らく病氣缺席してゐたが此間ヤツと出て來たばかりだと云ふが今日の第一人者たる榮譽を擔つた次第である、終つたのは四時十分、持地長官は何花子に對し特に賞與を與へられ例年にない今日の好成績を推賞された(當日の進級者は追て掲載)

◎印刷物配布　京城の北部へ　不法

十三日市内北部地方に又々十一日附第三十三號朝鮮獨立新聞と題せる謄寫版摺の不穩印刷物を配付せるものあり社長尹益善と銘打るも同人は既に早く其筋の手に檢擧せられ西大門監獄に拘置中の者なり

◎鮮人らしき轢死者

十四日朝仁川を發し午前七時四十分南大門驛着列車は古市町のカード上約一町の方に差し蒐りたる折柄列車を目蒐けて飛込みたる男あり直ちに取調べたるに顏面は眉毛と眼と殘れるのみにて全く粉碎し歳は目も當てられず推定年齡は二十四五歳にして鳥打と記せる印半纏を著し居れる朝鮮人らしく何處の者とも判明せず屍體は京城府に引渡し假埋葬に附したるが手足が三百間も離れて散亂しゐたる爲め附死ならずやと騷ぐものありて一時は人山を築きたり

◎義州の赤痢

平北義州地方に於ては赤痢流行し益々猖獗を極め去る十日迄の患者總數は十八名に達し益々蔓延の兆あるを以て其筋にては極力撲滅に努めつゝありと(新義州)

◎釜山の大相撲　初日の勝負

釜山に於ける東京大阪合併大相撲の初日(十四日)は滿員の好況を呈せるが重なる勝負次の如し(○は大阪方)

勝		負
高の山	(潮れこみ)	○南龍
若常陸	(おしだし)	○朝千鳥
綾川	(つりだし)	○西の森
釋迦嶽	(肩すかし)	○光風
逆鉾	(おしだし)	○五十嵐
一湊	(ひねり)	○瀧の海
逢の矢	(おーだし)	○朝日嶽
源氏山	(つきて)	宇都宮
島の海	(つりだし)	御西山
宮城山	(つき倒し)	海山
福柳	(おしきり)	兩國
大門岩	(おしきり)	稻の花
大泉	(打棄り)	逆鉾 (駒泉代理)
對馬洋	(あづかり)	大錦
大錦	(よりきり)	常の花
枥木山	(よりきり)	朝日山

又本社釜山支局お好み相撲

若常陸(よりきり)○南龍

打出し午後五時三十分右の内對馬洋に大阪大錦は勝負の預かりとなれり又本社釜山日報の懸賞銀盃も預かりとなれり又本社釜山支局お好み相撲若常陸に南龍は何れも新進力士のことゝて體格力量共に相伯仲し觀客の人氣に投じたれば場內頗に活氣付き東西の藝妓衆必死となりて應援に努めたり二日目取組次の如し(釜山電報)

▲**二日目取組**

(○南龍 陸錦)(釋迦嶽 若常陸)(○西の森 宮城川)(宇都宮 若常陸)(常の花 朝日山)

(○瀧の海 高の山)(○五十嵐 一湊)(○島海 綾川)(大泉 兩國)(大錦 御西山)

(○朝千鳥 光風)(○朝日嶽 逆鉾)(福柳 大門岩)(源氏山 對馬洋)(大錦 枥木山)

運動界

▽記者團對工專職員チーム試合

京城記者團チームは工業專門學校職員チームの挑戰に應じ十四日午後六時より京中グラウンドに於いて試合を擧行せり兩軍の陣容左の如し、審判官安達君

工專軍		記者團	
P	鮫島	1. P	北村
O	西山	4. O	西村
1,	矢吹	5. SS	菊田
2,	村松	6. 1B	石森
3,	臨谷	3. 2B	寺田
左	河合	2. 3B	小阪
中	小山	7. RF	林
左	矢田	8. CF	尾嶋
遊	諸岡	9. LF	野崎

記者團先攻で試合開始、第一回記者團全く無爲なるに反し工專軍打撃振ひ忽ち一擧三點を得たので記者團陣容亂れ平素練習不足が禍をなしエラー續出して益々敵に乘ぜられ雨中に奮戰した甲斐もなく第四回の裏で十對零と云ふスコーアを以て試合中止時に七時三十分

お寺と教會

▲京城組合教會(南米倉町) 日曜日午前十時より吉本牧師の『人を動かす力』午後八時より『よしゆあ記を讀みて』
▲メソヂスト教會(旭町二丁目) 十五日午前十時より『基督教精神』中村牧師午後八時より『右手左手』中村牧師
▲日本基督教會(長谷川町) 午前十時より秋月氏の『神の言葉』午後八時より『祈の道』
▲淨土宗日曜學校(本町開教院) 午前時より『大きな話』大山理事『少年…』落合先生
▲淨土宗教友會 午前十一時より京城本願寺教會所に於て『西林の大丸寺』大山理事
▲淨土宗特別傳道 十五日午後八時より本町開教院にて稻垣眞我師及び大谷理事
▲高野山降誕會(新町) 十五日午前十時より弘法大師降誕會執行し終いて京城各宗教師皆參 大般若經六百卷を轉讀し午後は餘興として有志の淨瑠璃琵琶等ある由
▲本願寺(南山) 午前九時より日曜學校午後八時より井上開教員の眞宗の表現
▲妙心寺提唱 十五日午前九時より長沙洞妙心寺別院にて後藤瑞巖老師の碧巖録提唱あり參聽隨意なりと

演藝

▲壽座 喋島會第七回目替り 狂言へ苦學生三場△秋吹風三場
▲壽館 △猿芝劇うつゝ浪一場 助右衛門の顛物 公の續き

左官建築材料

セメント　石灰
左官材料一式
各種色土砂
布海苔　苆
左官用東京鏝
各種塗料用品
建築材料種々
火山灰硅藻土
各種耐火煉瓦土精
各種煉瓦土管瓦
鑄工製鐵所用品
各種坩堝類製造

小野田セメント會社平壤支社製　石灰特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社製　瓦斯コークス　コールタール　特約販賣
九州火山灰合資會社　特約販賣
京城旭町一丁目　電話長九八四番　振替六〇八六番
卸商　戸澤商店

…苦心改良の結果…
蒲團綿
富士(眞ナシ)　鷹(眞ナシ)　日出、松、竹　梅、天、地　人
…品質優良價額低廉…
京城壽町二丁目
朝鮮製綿株式會社

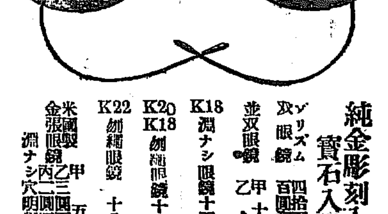
有名なる アルボース 消毒石鹸

輕快ナル夏ノ御裝ハ
アルパカノ上衣ニ白セルノズボンヲ
御推奬申上候
英國製紺黑アルパカ白ズボン地
多數品揃申候
京城南大門通　電話二參二貳〇・六九〇
丁子屋洋服店

精撰香油

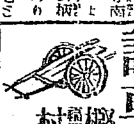
香氣の愛すべくさつぱりとして快きを憾ぎ、衣服の襟、髪飾り等汚染する憂ひなきは原料と製法の宜しきに因る
東京　本舗　井善　製
大阪市南久寶寺町四丁目　支店　藤森源之助　電話東一七八番

周易家相　京城明治町二丁目　岡村介石



純金彫刻入
寶石入指環品揃
プリズム双眼鏡　四拾五圓　百圓迄種々
並双眼鏡　甲十五圓　乙十圓
K18　淵ナシ眼鏡十五圓以上
K20 K18　鍍細眼鏡十七圓以上
K22　鍍細眼鏡　十八圓以上
米國製金張眼鏡　甲三圓五十錢　乙二圓五十錢
淵ナシ穴明用四圓
□金貨　銀用　懷中時計　萬年筆　品揃□
定價表進呈
中村眼鏡店

鐵誠無量の特約店に販賣す
クダリはらによし



諸車製造
樫板卸商
福岡市博多片土居町
村上李三郎
電話二三五番　振替一〇七二七

大相撲　釜山興行中　京城日報社

京城水道給水制限廣告

配水量不足に付左記の通り給水を制限す但し土地の高低及水量の關係に依り各給水栓の吐水に遲速あるへし

六月十五日以後當分の内
午前五時給水開始
午後九時給水停止

大正八年六月十五日
京畿道

みだれ咲き

第五十九回 島山碧波作 森田久畫

花の家の女將お藤は醜業婦お菊と共に押入の中に幽閉してある遊侍の佳人山中操子を引摺り出した。揆て春花園の夫妻がチヤンと手筈を定めて幽閉して行つた佳人操子を、荒々しく足許へ引摺出した。

『おいお操、悉しいことは春花園の夫婦から云はれて居るだらうがお前は今夜からでも私の見世で稼ぐのだらうね』

斯う云つて返答を促す主婦のお藤は、右の手に弓の折れを携へて操子の面をキツと睨下した、身は後手に括られて何等の抵抗力も無き操子は、無念の涙を頬に辷らせながら其處へ身を横たへた。

『お前さん何とか返辭をおしなね默つて居ては判らないよ』

醜業婦のお菊は主婦と一緒になつて憎々しく云つた。

『…………』

操子は怨みの一と言を此の二人に述べたかつた、彼れは次郎吉老人の言葉に欺され此處へ誘拐されて來たのであるから、一と言怨みを述べたいが、淺澁しくも手拭の猿轡を嵌られて居るため、今は口舌の自由さへ利かないのであつた。

『おい何時まで剛情を張つて居ないで早くウンと云はないかよ』

打ち降ろした弓の折れは、憐れ操子の肩のあたりに觸れて、豐艶な肉は裂けるかとも思はれた。

『ウーム……』

痛さを堪へる操子は、水晶を並べたやうな齒を喰しばつて泣く音を忍んだ。

『あらお女將、是れでは駄目ぢやありませんか、此の人が返事をしやうと思つても、斯うして猿轡を掛られて居ては口が利けないことよ』

醜業婦のお菊は、始めて猿轡に氣が付いて微笑を浮べた。

『おや左樣だね』

鬼のやうな主婦も、夫れと知つては苦笑を禁じ得なかつた。

『早くそれを外しておやり』と、命じたお藤は、お菊が夫れを外したのを眺め、

『おいお操、何度云つても一つことだがお前さんは私の見世で稼ぐのだらうね』

操子は一旦此の料理屋で女中勤めをしやうと思つたが、主婦が自分に返辭を迫るのに弓の折れを以て打擲するやうでは、到底尋常一樣の奉公で濟むことは無いと思つた。

『お操さん、斯うして連れて來られた以上は、一丁目があつて二丁目の無い地獄道だから何事も前世の約束と諦めて今夜からお稼ぎ、成程多くの客の中には死ぬ程厭やな奴も居るが其の代りには生命の洗濯をしやうと思へば、役者買でも落語家買でも自由勝手さ、夫で旨い物を喰べて旨いお酒を呑んで稼して行けるのだもの世の中に是れ程面白い商賣はありやしないよ』と、お菊は言葉を盡くして醜業に從事すべく勸めるのであつた。すると美しい面を上げた操子は、

『私は自分の不注意でお宅のやうな恐しい處へ連れて來られたのです、然し例令此のまゝ餓ゑ死を致しましても畜生道に身を落しませんから、どうぞ此のまゝ殺して下さい』

怨みの籠る面を上げて操子は二人の婦人をハツタと睨め上げた

『おや生意氣のことを吐かすね、斯うなつたら邪が非でもお前を稼がせるよ、夫とも強て歸り度いならばお前に貸した金を直にお返しな』

『そんな無理を被仰つても唯今直ぐにお返し申すことは出來ませんから暫くお待ち下さい』

『駄目だよ、そんな悠長のことは』と、お藤は宛で取合ずに居ると、主婦と顔を見合せた醜業婦のお菊が、

『お女將、此の上は例の水責にしてウンと云はせませう』と、冷やかに云ひ放つた。

寫眞 京城旭町壹丁目 河原寫眞館 電話二九八一番

帶はだん／＼派手に 模樣のパツとしたのが流行る

夏の帶はだん／＼派手になつて往く傾きがありますが、昨今の賣行きを或る呉服屋で調べて見ますとなりたけ派手なのとお客が勝つて往くさうで倭綴れとか

△鶉織 とか眞美織とか言ふ本年流行の夏帶は矢張片側物に限られて居る樣ですが、なりたけ模樣のぱつとした見る目艶やかな色合のがお客に喜ばるゝ相です尤もお客の方の趣味もだん／＼高尚になつて、單に派手なものと言つた所で色合があくどかつたり模樣がけば／＼しかつたりする物は一向駄目で一寸見て派手な映りの好い

△感じ の好い色合のあるのでなくては賣れないさうです、近時は絞りが流行り出したので絞りのあるもの、若くは絞りのやうに模樣が淡泊と浮出て居るものが其中でも一番喜ばれるとの話で御座います、尚本年になつて流行の出したジヤヴア更紗の帶も大變に需要があるとの事です、これは高尚で澁くつて、それでどこか粹がかつて居るので、趣味の著しく發達してゐる人には之れに限るとの事です

◎外米は古い方が美味い

內地米の値が高いので外米だとか麥だとかを代用する話が諸處にありますが中には外米は腹が早く減つて困るといふ方もありますが

◇座職 の人達は却つて外米の方がよいとも申します牛込柳町の某切花屋では日露戰爭前から南京米を用ゐて居まして親子四人雇人二人が內地米や糯米を食ると胃にもたれて仕方が無いと云ふ位になつてゐます、そこの主人の話によりますと外米も古い方がよいさうで古いものは殖ると餘計に水をすひ

◇非常に 美味しい但し古米の方が色が黑いさうですそれから朝六時頃食べて勞働をしてると午前十一時にはお腹が減るさうです

◎著物に汚點が

＝附いたときには＝

著物に汚點のついた時には科學的の汚點抜きをやらねばなりませんが、外出先などで直に汚點抜きをすることの出來ない場合には汚點を成るべく薄くして置いて他日容易に汚點の抜ける樣に＝＝汚點は擲つて置くと抜けなくなるものです＝＝しなければなりません、夫には脂肪には油、蠟質のもの、附著した場合の外は汚點のついた所を濕布で濕し次に乾布又は白紙にて水分を吸ひ取り數回これを繰返して附著物を出來る限り溶解さするがよく若し酸性のものが附著した時には稀アルカリ性液にて中和しアルカリ性物の附著した時には酸性液にて中和し其後濕布を用ゐるがよい、脂肪又は蠟ならば鈍刀でそれを削り去つてから油ならば白布紙片等で丁寧に吸取りなさい

[illegible]胃散 京城 朝鮮製藥合資會社 金十五錢 金三十錢 金壹圓 金五圓

日報歌壇

○ 國田 蒼園

県立島木の梢にゐて静かなる風にほんやり吹かれてゐるも

若草の假め山を行くわれになりなり雉子の啼しくは鳴け

鷄小屋の錠を下しに行く夕べ庭にさびしく眠る八重櫻

○ 白鈴社詠草 河島ひで路

黒雲の空を仰へり庭の木々しきりにざはめく雨降るらむか

陽ゐちの空暗くなりて庭の木のざはめて卽ゆ雨降るらしも 同上

小竹鼓に小竹の落葉踏みにつゝ貧しき我の求むる筍 海野さちを

○

いさゝかの雨に濡れたる土の上にこいだく散りし桐の花はも 同上

茜さす夕の日受けてなさなこのまだ見ぬ小夜の山櫻散りの いまなきいだしかな 久禮路夢

朝まだきに子は起き出て 同上

屋根赤き洋館の庭にライラック香ぐはしきまゝに咲き出でにけり 同上

榮の花のなかにましりて一こもこの大根の花のさみしくは咲く 選者

新刊紹介

▼現代之圖工藝(六月號)ポスター、ステインドグラス、家具等を始め一般に亘る新様の圖案を鮮明なる石版並に凸版として挿入し記事には工藝展に對する期待、農展より文展へ、尖的精神の涵養等を收む(卅五錢、東京市赤坂區青山南町二の四現代の圖案工藝社)

▼考へ方(六月號)考學を主させる考へ方を研究せるもの受驗者の好伴侶たるべし(廿五錢、東京市神田區北神保町一三考へ方研究社)

▼婦人週報(卅日號)家事、文藝等の興味多き記事を收めたり(五錢五厘、東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七婦人週報社)

▼書道研究(六月號)小野鵞堂氏の主幹せる書道雜誌にして同氏の手本を始め書法に關する有益なる記事あり(卅錢、東京市神田區猿樂町三の一斯道會)

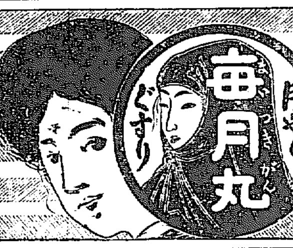
▼刀劍と歷史(六月號)本阿彌光遜氏の主宰する表題の如き雜誌にして刀劍に關する新研究を收む

▼民族と歷史(一の六)喜田博士主宰の此の雜誌は歷史地理專門の貴重なる資料を豐富に蒐めたものにて、朝鮮民族とは何ぞや(喜田博士)河內國石器時代遺蹟(同)俗傳上の遺物遺蹟(同)英國の民族及び我が古俗(土井爲一)民(坂口博士)其他有益なる趣味なる諸博士の史題十餘の篇あり(十三錢、東京小石川表町一〇九日本學術普及會)

▼帝國青年(六月號)日本民族の新使命(一木喜德郎)盗林と青年團、鶴見中將其他『腦髓の神秘』『體力と腦力』『頭部の研究と腦髓の中風』『五分間演說法』『予の敬する人物』等青年の必讀すべきもの多し(十五錢、麹町永田町帝國青年發行所)

投書

▲投書子ヶ京長いもの字體不明瞭のもの、黒紙に朱又は赤にて書かれたもの、徒に長いもの等多く用ゐたるもの取らず(係)▲下宿屋兼館の獨身者や夫は毎々醜婦を引入れさせて深夜迄騷ぎ迷惑だ(猿被生)▲此頃新聞紙上でくは受く『プロパガンダ』と云ふ語がわからんで困ります、どなたか委しく說明して下さらば幸甚の至りです(猪學生)▲私は朝鮮語の教授を受けたいと思つて居ります數授所御存じの御方は紙上にて御知らせ下さいませんか(テー生)▲好乘生樣へ私も愛兎家です一昨年より優良白兎を飼つて居りますが見事です御望なれば分讓します(黃金町四丁目二〇七二荻原)▲五月十六日讀者の欄の南町柳生君の賞讚さるゝ奧樣は僕も同感です僕の町にも水に緣ある商店の奧にも同樣御團扮力さは盡築に樂樣らしい女流の樂にしたい程です此の人に中の身分ありし方の妻なるにも拘はらず能くもあればご働らけるものと町內の美ひなり(黃金生)▲私家へ吉益喰ひの前面か有るのに毒溜馬を書いたものか有り探原論泣眼と名記しあります　が是れは探谷泣眼のことでしよか又對泣俚元信のことでしようか(御部生)▲犬の子生後三ケ月(但しセツター臣ヨ毛雌斷尾しあり、小生飼養していましたが都合により他に讓ります御希望の愛犬家の方に差上げますから 希望の方は電話龍山九六五番へ御照会被下い(エムエー生)



月やく 每月丸 ぐすり
月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯を通じ月經不順に伴ふ子宮血の道、便秘、氣鬱逆上等を其治す。
又持藥とせば惡血を下し月經異動、子宮病を治す。
本舖 大阪 丹平商會藥房

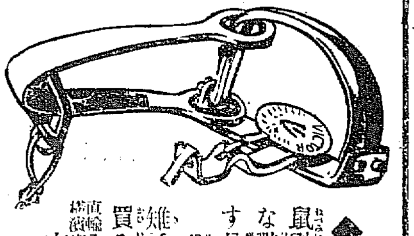
大阪屋號 京城本町一丁目 電話六四番 振替京城二五七三番

○鮮譯國語大辭典 金澤博士校閱 船岡獻治著 特價四圓三十錢 送料三十六錢

最新刊

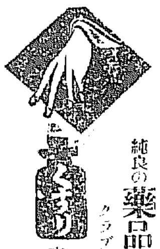
書名	著者	定價	送料
かしや小住宅建築圖案五十種		三五〇	
唐詩三百首譯注	館山漸	一九〇	
防貧策	平瀨龍吉譯	一八五	
佛教概論	金子大榮	一五〇	
實驗遺傳學	安部文夫譯	一八〇	
元祿女	谷六	特三〇	
◎是丈は心得置くべし各八十五錢 一社交二法律三處世 四遊藝五修養			
女は泣いて居る	松崎天民	一四〇	
赤い顔して女優を有て	ば他見月	七〇	
愛兒の叫と愛兒の救育	樋口	一五〇	
一葉全集第三卷		一八〇	
一高三年	本多秋湖	六〇	
哀傷は賢人の月也		一三〇	

かぜに一ぷく キナピリン
ねつに一ぷく／＼ キナピリン
效驗忽ち現はる
(假十錢、廿錢、卅錢、五十錢一圓)
大阪、東京、
本舖 高橋盛大堂藥局
◎至る所の藥店に販賣す



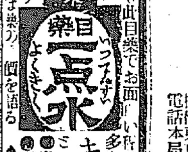
痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城本町二丁目(本町より入る中央)
電話二一一番

御旅行の時 美乳を
必ずお忘れないやうに！
ナゼ美乳が旅行には殊に重寶だと評判になつてゐるかと申しますと第一に三分間化粧の別名もある位で何時何處でも簡單にすぐお顔の整ひ得らるゝ點、第二に幾ら旅先きの水質が變つても洗面のあと或は湯上りに此の一滴を塗けると嘶して荒れのせぬ點、第三は美乳の根本使命たる生地から色を白く美しく從つて旅行の愉快と高尚な美の快感が一致する點であります。近頃の御婦人は誰樣でも旅行用の提袋の中に美乳を御用意なさる事が流行の如になりました
僅か一瓶で美人となる
試驗はタツタ一週間！
美乳一瓶貳拾五錢……純白美乳一瓶金拾錢
本舖 大學目藥本店 矢野芳香園



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……
京城本町二丁目角 古城贊化堂
電話一〇二番 振替七三七番

名の如く目病に一點すればサツパリとヨク治しみ痛ますに治る
小兒も喜んでツケル
●永年の目病も此目藥でお面白い程ヨク治つた例多し今度是非試験よ
目藥 一點水 よくきく
●實驗者の言くキツト
●定價 拾錢
▲東京築地 吉永藥房



◆米國製捕獸器◆
鼠鼬の類よりどんな大いな獸類でも容易に捕れます是非一度御試し願います
説明書定價表は御一報次第送呈
雉子尾又は栗虫の巢高價買入仕候
直輸入發賣元 横濱市住吉町一丁目(公園前)
吉川米次郎商店輸入部
振替東京一四二〇五番 電話本局一三二一六番

備へよ!!
家庭の責任者 徳用(壹圓)以上を備へよ……
學校の責任者 責任教師各一瓶宛備へよ……
工場の責任者 二拾瓶以上を備へよ……
旅館及び交通機關の責任者 旅行用ポケツト型を備へよ……

下痢腹痛の急場を救ふ
柏村博士の…… ヘルプは

消化と殺菌、作用を兼備せる理想の 腸胃藥

下痢の原因は不消化と黴菌作用に起因すれば、其藥劑は必ずそれ等に向つて一大作用がなければ決して價値あるものと云へない。然るに從來の藥劑はその生命とすべき用意が缺けてゐて、ただ一時的に下痢を止める單純なる收斂劑ばかりであつた。かゝる藥劑は却て病を重くし、後には必ず身体に故障を來す。我が柏村博士のヘルプは此等の缺點を考慮配劑せる他に斷じて比類なき最も進步せる下痢止腸胃藥なれば夏期に流行する一般下痢諸病に應用して最も安全なり

藥効作用
●食過●水あたり●食あたり●寢冷●冷腹●時候あたり●消化不良等より起る
▲下痢▲腹痛▲吐瀉▲澁腹▲腹瓦斯を止め▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

消化 殺菌 健胃 整腸
最も進歩せる下痢止良藥
定價 二十錢 三十五錢 五十錢 旅行用 一圓 徳用 二圓

ヘルプの特長
健胃、整腸、消化、殺菌、鎭痛、收斂防腐等の諸作用を完備せる現代唯一の腸胃藥
▽全國有名の各藥店に販賣す▲
東京本日橋區本銀町三丁目 本舖 津村敬天堂 振替東京八六四番

聯國修正決定 比較的中間の立場にありしロイドジヨージ氏は聯國側に傾くに至り……聯國側の對案に對し四頭會議に於て……